

清川村
子ども・子育てに関するニーズ調査
結果報告書

令和6年4月

清川村

目 次

I. 調査の概要	1
1 調査の目的	2
2 調査概要	2
3 報告書の見方	2
II. 調査結果の概要	3
1 子どもの育ちをめぐる環境や家族状況について	4
2 保護者の就労状況について	4
3 子どもが通っている教育・保育施設の利用状況について	4
4 地域の子育て支援事業の利用状況について	5
5 「土曜・休日や長期休暇中の保育園・幼稚園等」の今後の利用希望について	5
6 子どもの病気の際の対応について	6
7 一時保育や宿泊を伴う突発的な保育の利用について	6
8 小学校就学後の放課後の過ごし方について	6
9 育児休業や短時間勤務制度等の職場の両立支援制度について	7
10 子育てについて、考えていることや感じていることについて	7
III. アンケート調査結果	9
1 お住まいの地区について	10
2 宛名のお子さんご家族の状況について	10
3 お子さんの育ちをめぐる環境について	13
4 お子さんの保護者の就労状況について	19
5 宛名のお子さんが通っている教育・保育施設の利用について	27
6 地域の子育て支援事業の利用状況について	37
7 宛名のお子さんの「土曜・休日や長期休暇中の保育園・幼稚園等」の今後の利用希望について ..	41
8 宛名のお子さんの病気の際の対応について	44
9 宛名のお子さんの「一時保育や宿泊を伴う突発的な保育の利用」について	49
10 小学校就学後の放課後の過ごし方について	54
11 育児休業や短時間勤務制度等の職場の両立支援制度について	59
12 子育てについて、考えていることや感じていることについて	65

I . 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「第3期清川村子ども・子育て支援事業計画」の策定にあたり、保育や子育て支援サービス等のニーズ量の把握とともに、子育て世帯の就労等の実態や要望を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的として実施しました。

2 調査概要

- 調査対象者：就学前児童の保護者（配付数 81 件）
- 調査期間：令和6年2月26日～3月8日
- 調査方法：教育・保育施設利用者は、施設を通じた配付・回収
教育・保育施設未利用者は、郵送による配付・回収
- 回収結果：回収件数 56 件、回収率 69.1%

3 報告書の見方

- グラフおよび表の「n（number of case）」は、各設問に対する有効標本数（集計対象者総数／あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人数）を表しています。
- 回答結果の割合「％」は有効標本数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、又は回答の判別が困難なものです。
- n 数（有効標本数）が 30 未満の項目は、統計上のサンプル数が少ないことから、参考値とします。
- 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。

Ⅱ．調査結果の概要

1 子どもの育ちをめぐる環境や家族状況について

- 子どもをみてもらえる親族・知人の状況（問8）をみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が5割弱と最も多い等、親族や友人・知人に子どもをみてもらえる人がいる中で、「いずれもない」が1割強と、子どもをみてもらえない人が少なからずいる状況がうかがえます。
- 気軽に相談できる人・場所の有無（問11）をみると、「いる／ある」が9割強と大半を占める中、「いない／ない」が1割以下となっています。
- 配偶者の有無（問5）をみると、「配偶者はいない」が1割以下で、配偶者がいない人（2件）の内訳としては、「母子家庭」（2件）のみで、「父子家庭」はありませんでした。
※n数（有効標本数）が30未満の項目は、参考値となることから、カッコ内に件数を記載しています。（調査結果の概要内、以下同様）

2 保護者の就労状況について

- 母親の就労状況（問14）をみると、「フルタイムで就労中」が4割強と最も多く、次いで多い「フルタイム以外（パート・アルバイト等）で就労中」（3割強）と合わせた“就労中の母親”は7割強と、働く母親が多い状況がうかがえます。
- 就労していない母親（15件）の中で就労希望（問17）をみると、「今は子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない）」（7件）が5割弱と最も多くなっています。次いで「1年より先、一番下の子どもが〇歳になった頃に就労したい」（4件）と「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」（4件）がともに3割弱となっています。
また、「1年より先、一番下の子どもが〇歳になった頃に就労したい」を選んだ母親（4件）の内、就労するタイミングの子どもの年齢としては、「3歳」（2件）、「4歳」（2件）がともに5割となっています。

3 子どもが通っている教育・保育施設の利用状況について

- 定期的な教育・保育事業の利用の有無（問18）をみると、「利用している」が約8割となっています。
- 利用している人の内で、利用している定期的な教育・保育事業（問19）をみると、「認可保育所」が6割半ばと最も多く、次いで「幼稚園」が3割強、「幼稚園の預かり保育」が1割強となっています。
- 定期的な教育・保育事業の利用の有無にかかわらず利用希望（問24）をみると、「認可保育所」が6割強と最も多く、次いで「幼稚園」が5割弱、「幼稚園の預かり保育」が3割強、「認定こども園」が3割弱となっています。また、実際の利用状況と比較すると、「認定こども園」（26.8ポイント）と「幼稚園の預かり保育」（18.8ポイント）、「幼稚園」（15.3ポイント）のいずれもが実際の利用より多くなっていることから、保護者の利用希望と実際の利用の間に乖離があることがうかがえます。

4 地域の子育て支援事業の利用状況について

- 地域子育て支援の場の利用状況（問 27）をみると、「利用している」が1割強、「利用していない」が9割弱となっています。
- 今後の利用意向（問 28）をみると、「今は利用していないが、今後利用したい」が約2割、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が1割以下となっています。
- これまで利用したことがある子育て関連事業（問 29）をみると、「育児サークル活動（だっこらっこクラブ等）」と「親子開放デイ、のびのび子育てサロン」がともに5割強で、「マタニティ教室、乳児教室、育児教室」も4割半ばとなっています。一方、利用経験が少ない事業では、「家庭教育に関する学級・講座」と「教育相談センター・教育相談」、「子育ての総合相談窓口」と「清川村発行の子育て支援情報誌」がいずれも約1割以下となっています。
- 今後利用したい子育て関連事業（問 29）をみると、利用経験が少なかった「清川村発行の子育て支援情報誌」をはじめ、「子育ての総合相談窓口」、「教育相談センター・教育相談」、「家庭教育に関する学級・講座」がいずれも3割半ば～4割強となっており、実際の利用を大きく上回る利用意向がうかがえます。

5 「土曜・休日や長期休暇中の保育園・幼稚園等」の今後の利用希望について

- 土曜日の利用希望（問 30）をみると、「月に1～2回は利用したい」が2割強、「ほぼ毎週利用したい」が1割以下となっています。
- 日曜日・祝日の利用希望（問 30）をみると、「月に1～2回は利用したい」が1割弱となっています。（「ほぼ毎週利用したい」の利用希望はありませんでした）
- 土曜・休日の月に1～2回の利用希望者（12件）の中で、毎週ではなく月に1～2回利用したい理由（問 31）をみると、「月に数回仕事が入るため」（6件）が5割と最も多く、次いで「息抜きのため」（5件）が4割強、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」（4件）が3割強となっています。
- 幼稚園利用者（14件）の中で、長期の休暇中の利用希望（問 32）をみると、「休みの期間中、週に数日利用したい」（7件）が5割、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」（3件）が2割強となっています。

6 子どもの病気の際の対応について

- 定期的な教育・保育事業の利用者の内で、子どもが病気やケガで定期の事業を休んだことの有無（問 34）をみると、「あった」が9割以上と、ほとんどの子どもが休んだことのある状況となっています。
また、子どもが定期の事業を休んだ人の内で、その際の対応（問 35）をみると、「母親が休んだ」が9割弱、「父親が休んだ」が約6割と、半数以上の母親・父親が仕事を休んで対応した状況がうかがえます。
- 母親又は父親が仕事を休んで対応した人の内で、病児・病後児のための保育施設等の利用意向（問 36）をみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が5割強となっています。
- 病児・病後児保育施設等を利用したい人（21 件）の内で、子どもを預ける場合の希望する事業形態（問 37）をみると、「他の施設（例：幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業」（16 件）が8割弱と最も多く、次いで「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」（14 件）が7割弱となっています。

7 一時保育や宿泊を伴う突発的な保育の利用について

- 突発的な保育について不定期に利用している事業（問 41）をみると、「利用していない」が8割弱と最も多くなっている一方、「幼稚園の預かり保育」が2割弱、「一時保育」が1割以下となっています。
- 突発的な保育を利用していない人の内で、その理由（問 42）をみると、「特に利用する必要がない」が6割強と最も多くなっている一方、「その他」が2割弱、「利用したい施設が地域にない」が1割強となっており、「その他」の内訳では、「幼稚園の預かりが現在は就労に限定されている」や「幼稚園で8時から預けたい場合、わざわざ休んで他の施設を利用しなければならず対応が難しい」等の理由が挙げられています。
- 突発的な保育の利用希望（問 43）をみると、「利用したい」が7割弱と、半数以上が利用希望をもっている状況がうかがえます。
- 突発的な保育を利用したい人の内で、その利用目的（問 43）をみると、「私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的」が8割半ば、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が7割強、「不特定の就労」が2割強となっています。

8 小学校就学後の放課後の過ごし方について

- 子どもが5歳以上である人（23 件）の内で、小学校の放課後の過ごし方の意向（問 47）をみると、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」（13 件）が6割弱、「放課後子ども教室」（7 件）が約3割となっています。
- 放課後児童クラブの利用意向をもつ人（13 件）の内で最終学年（問 47）をみると、「6年生」（5 件）が4割弱と最も多く、次いで「3年生」（4 件）が約3割となっています。

- 放課後児童クラブの利用意向をもつ人（13 件）の中で土曜日の利用意向（問 48）をみると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（3件）が2割強となっています。また、日曜日・祝日の利用意向（問 48）をみると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（1件）が1割弱となっています。（土曜日と日曜日・祝日ともに、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」はありませんでした）
- 放課後児童クラブの利用意向をもつ人（13 件）の中で長期休暇期間中の利用意向（問 48）をみると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（6件）と「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（6件）がともに5割弱となっています。

9 育児休業や短時間勤務制度等の職場の両立支援制度について

- 育児休業の取得状況で「取得した（取得中である）」（問 49）をみると、母親が4割弱であるのに対し、父親では2割強となっています。
- 育児休業を取得していない母親（9件）の中で、取得していない理由（問 49）をみると、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」（3件）と「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」（3件）がともに3割強と最も多く、次いで「保育園等に預けることができた」（2件）が2割強となっています。
また、育児休業を取得していない父親の中で、取得していない理由（問 49）をみると、「仕事が忙しかった」が6割弱と最も多く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」と「配偶者が無職、祖父母等の親族に看てもらえる等、制度を利用する必要がなかった」がともに3割となっています。

10 子育てについて、考えていることや感じていることについて

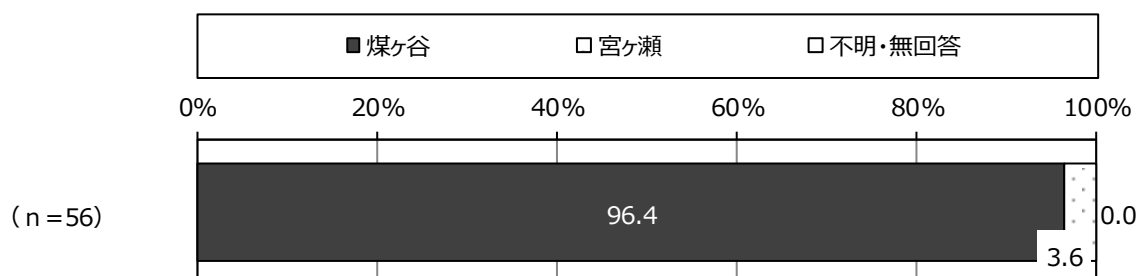
- 保護者が清川村に住みはじめた時期（問 54）をみると、「第1子が生まれた後に清川村に転入してきた」が5割強と最も多く、次いで多い「第1子が生まれる前に清川村に転入してきた」（3割弱）とあわせた“清川村に転入したきた”は約8割となっています。
- 自分自身の子育てが、地域の人々や地域社会に支えられてると思うか（問 56）をみると、「どちらかというと思う」が5割と最も多く、次いで多い「そう思う」（3割弱）とあわせた“そう思う”は8割弱となっています。
- 清川村の子育ての環境や支援への満足度を（問 59）みると、「ふつう」が3割半ばと最も多くなっています。次いで「やや満足していない」が2割強と多く、「満足していない」（1割弱）とあわせた“満足していない”は3割弱となっています。反対に、「満足している」（約2割）と「やや満足している」（1割半ば）をあわせた“満足している”は3割強となっており、“満足していない”を上回っています。

Ⅲ. アンケート調査結果

1 お住まいの地区について

問1 お住まいの地区はどちらですか。(単数回答)

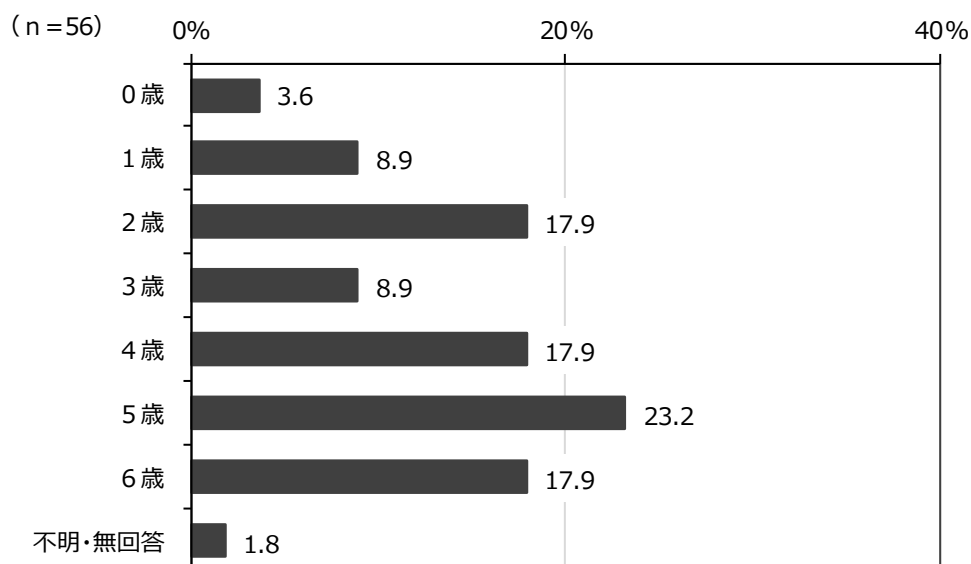
「煤ヶ谷」が96.4%、「宮ヶ瀬」が3.6%となっています。



2 宛名のお子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。(数量回答)

「5歳」が23.2%と最も多く、次いで「2歳」と「4歳」、「6歳」がいずれも17.9%となっています。



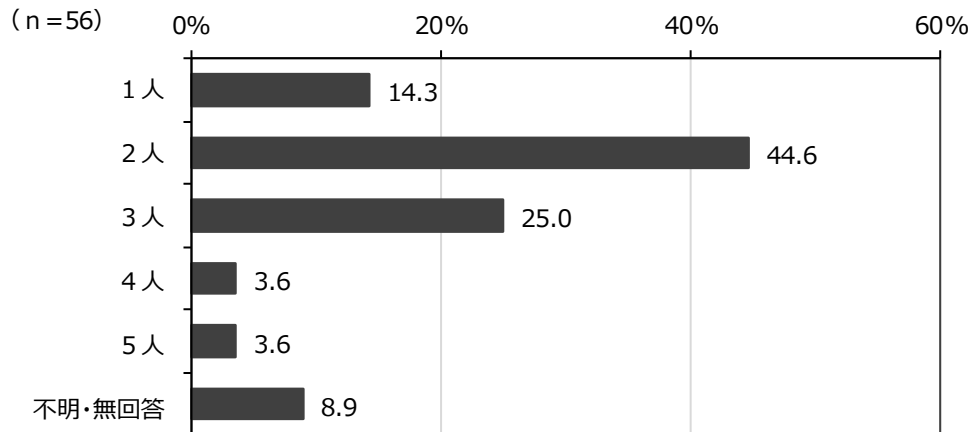
問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

また、お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

(数量回答)

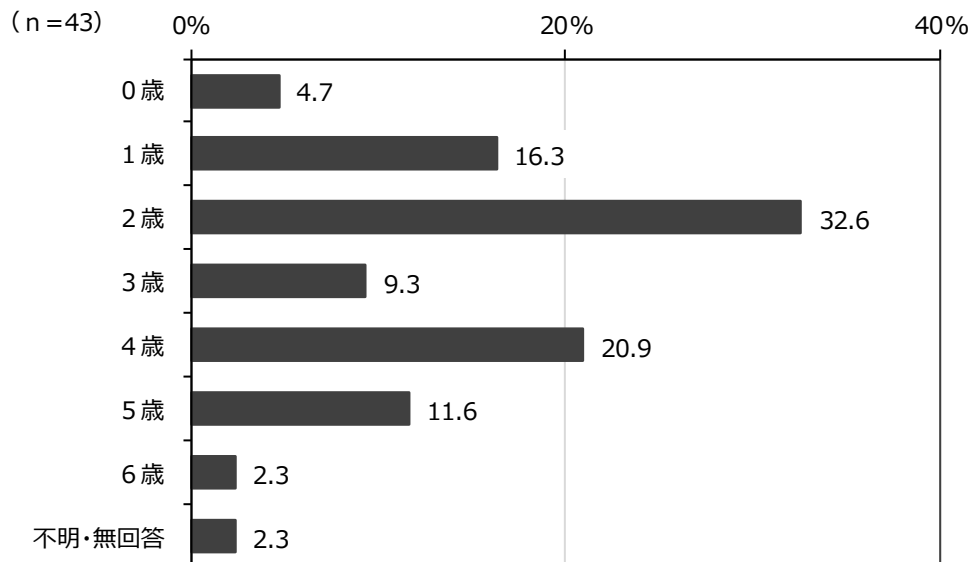
■ **きょうだいの人数(宛名のお子さん含む)**

「2人」が44.6%と最も多く、次いで「3人」が25.0%、「1人」が14.3%となっています。



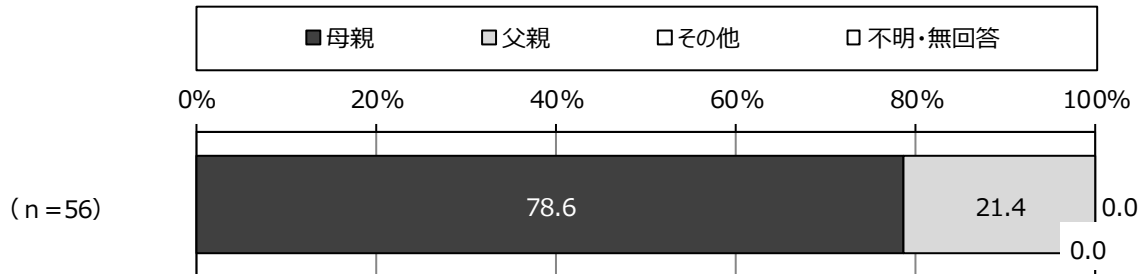
■ **末子の年齢**

「2歳」が32.6%と最も多く、次いで「4歳」が20.9%、「1歳」が16.3%となっています。



問 4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。（単数回答）

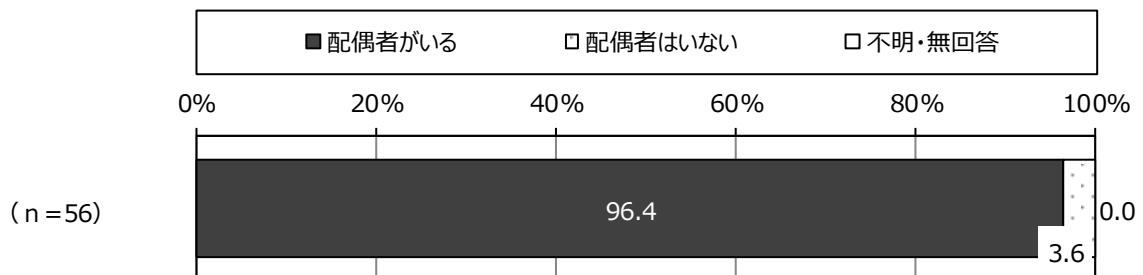
「母親」が78.6%と最も多く、次いで「父親」が21.4%となっています。



問 5 この調査票にご回答いただいている方の配偶者の有無についてお答えください。（単数回答）

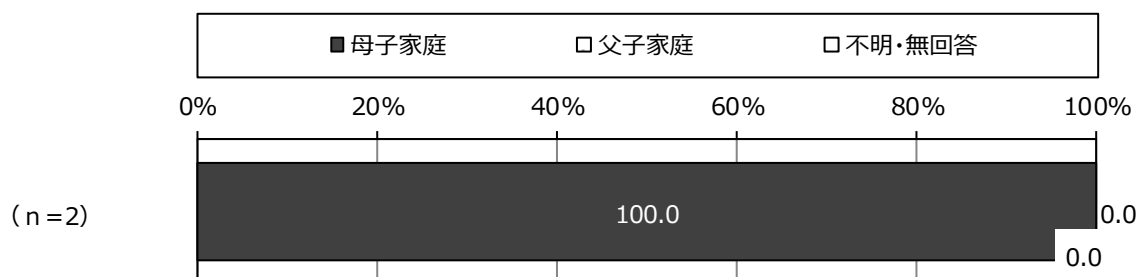
■ 配偶者の有無

「配偶者がいる」が96.4%、「配偶者はいない」が3.6%となっています。



■ 「配偶者はいない」回答者の家族形態

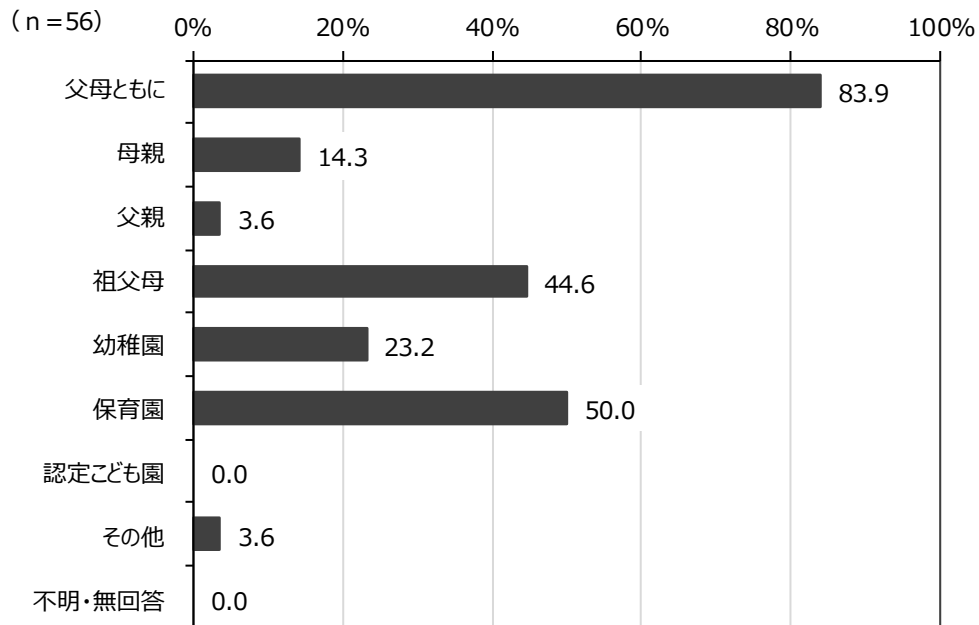
「母子家庭」が100.0%となっています。（「父子家庭」はありませんでした）



3 お子さんの育ちをめぐる環境について

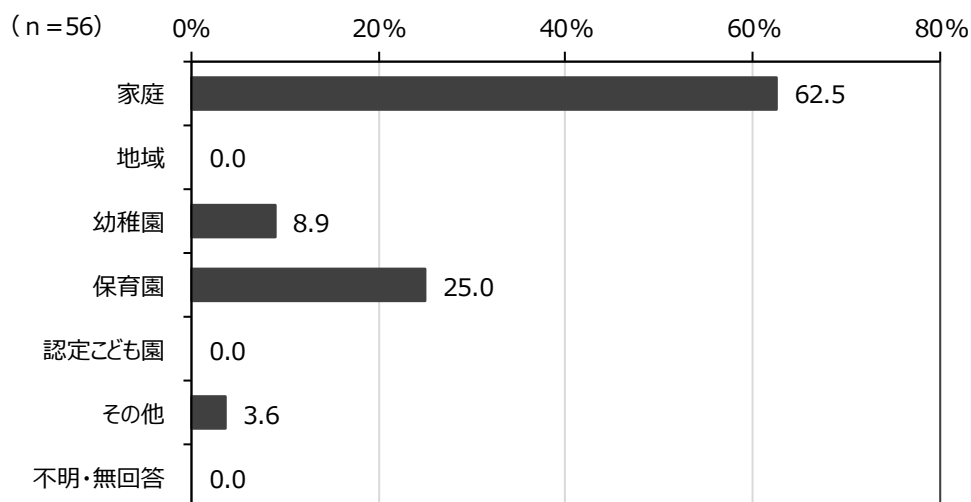
問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。（複数回答）

「父母ともに」が83.9%と最も多く、次いで「保育園」が50.0%、「祖父母」が44.6%となっています。



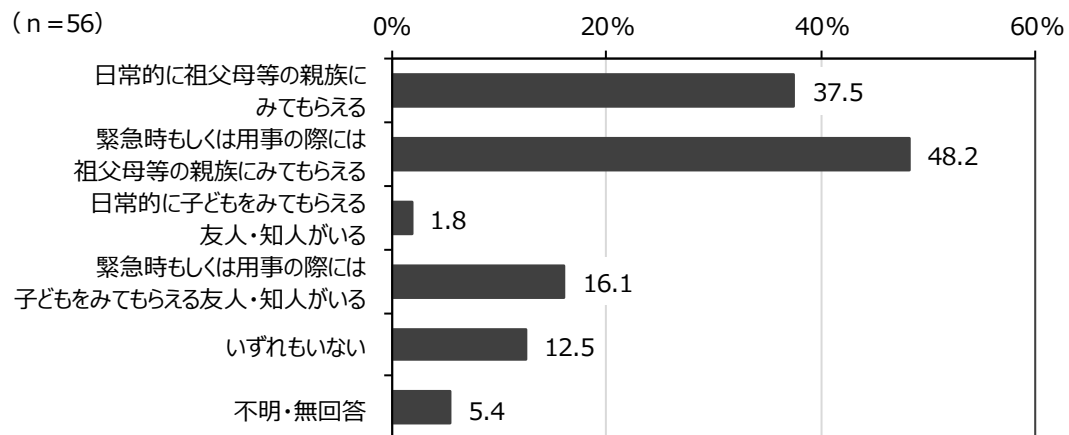
問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境はどれですか。（単数回答）

「家庭」が62.5%と最も多く、次いで「保育園」が25.0%、「幼稚園」が8.9%となっています。



問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(複数回答)

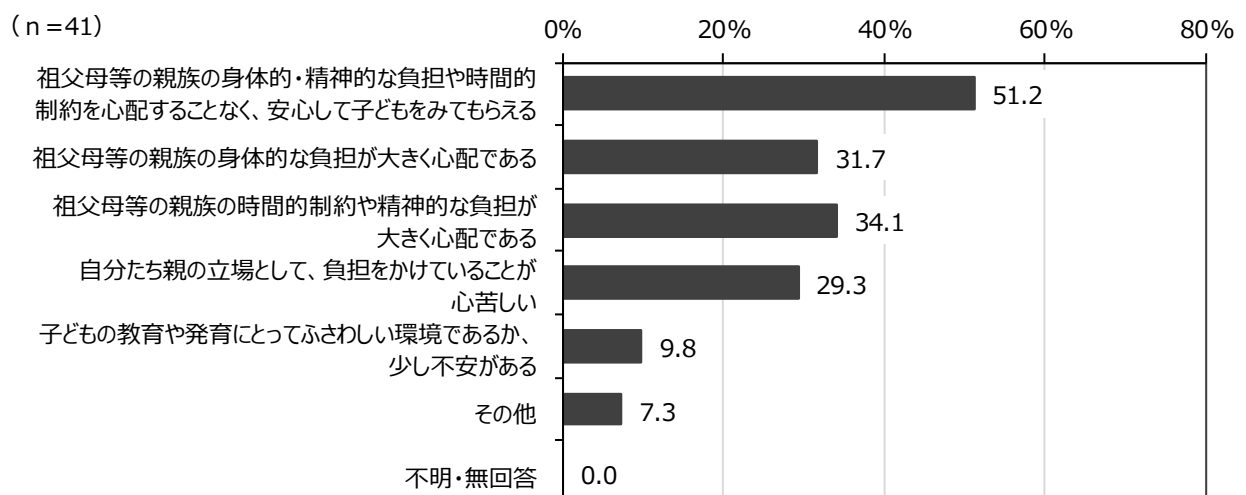
「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が48.2%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が37.5%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が16.1%となっています。また、「いずれもない」が12.5%となっています。



【問8で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」のいずれかを選んだ方】

問9 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(複数回答)

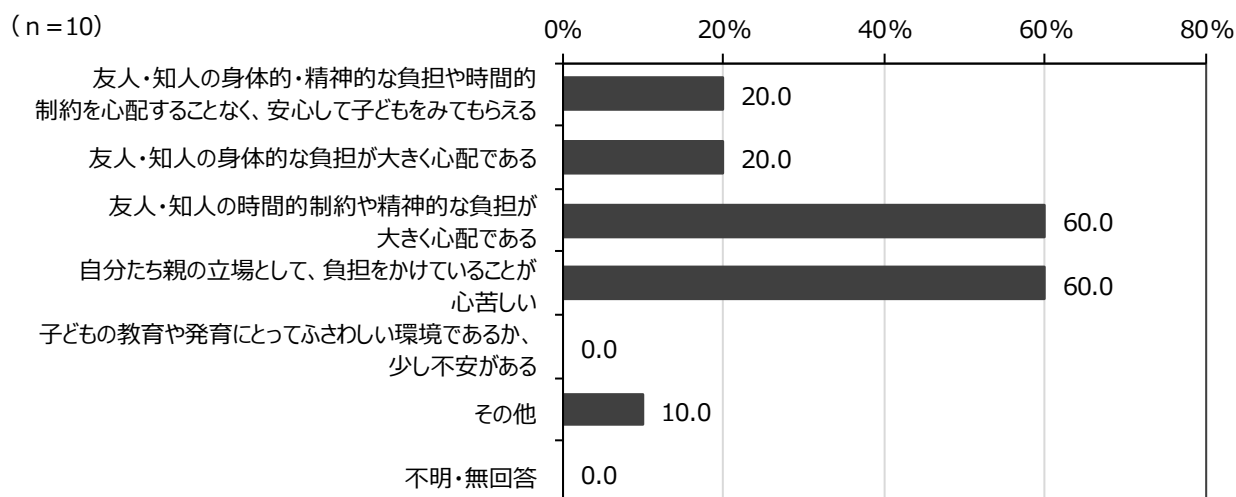
「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が51.2%と最も多く、次いで「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が34.1%、「祖父母等の親族の身体的な負担が大きく心配である」が31.7%となっています。



【問8で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」のいずれかを選んだ方】

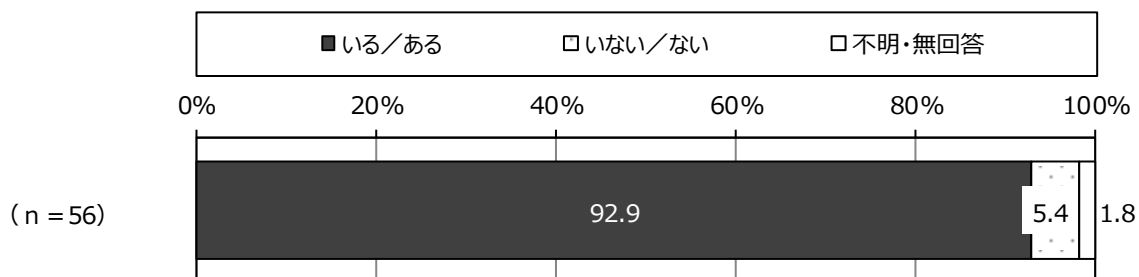
問 10 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（複数回答）

「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」と「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」がともに 60.0%と最も多く、次いで「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」と「友人・知人の身体的な負担が大きく心配である」がともに 20.0%となっています。



問 11 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（単数回答）

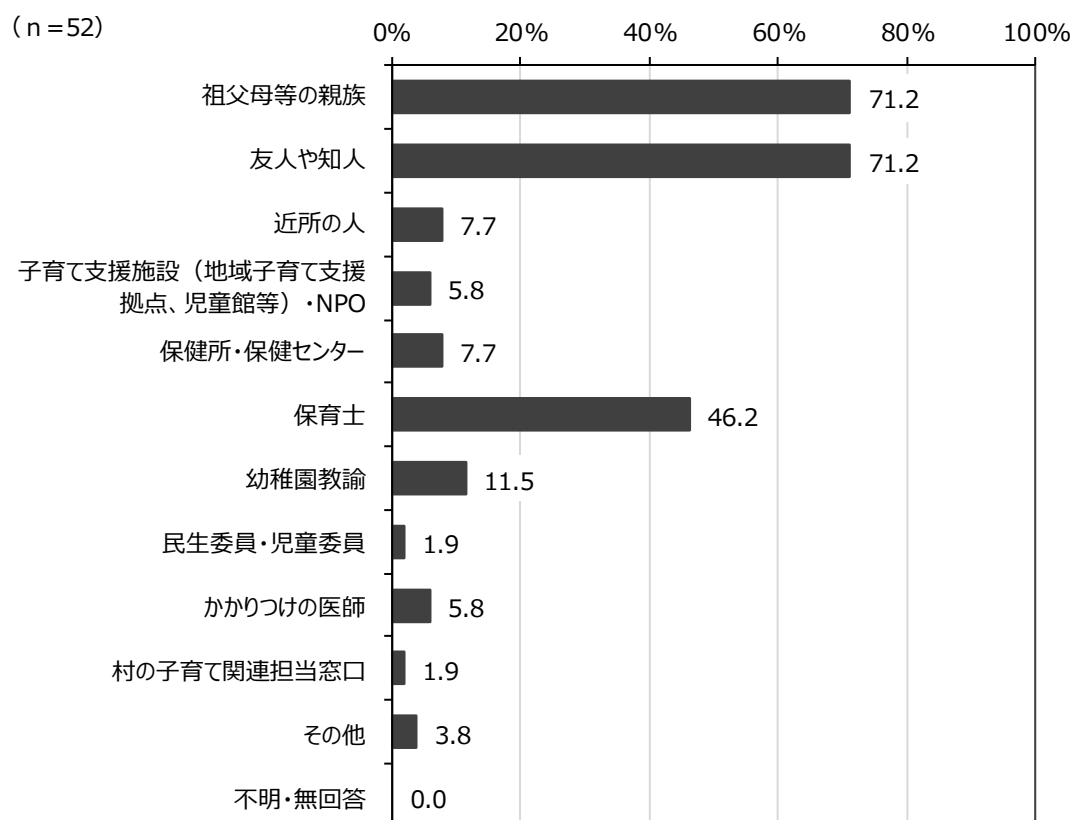
「いる／ある」が 92.9%、「いない／ない」が 5.4%となっています。



【問 11 で「いる/ある」を選んだ方】

問 12 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
（複数回答）

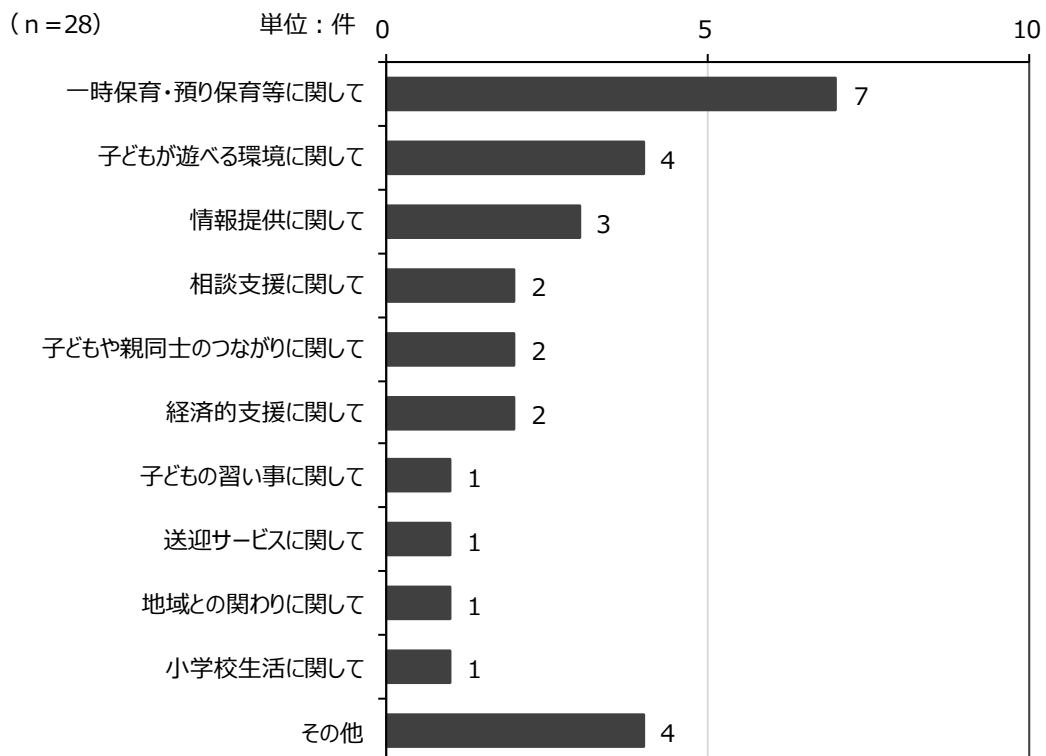
「祖父母等の親族」と「友人や知人」がともに 71.2%と最も多く、次いで「保育士」が 46.2%となっています。



問 13 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、役場担当者等）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。（自由回答）

どのようなサポートがあればよいかの自由回答をみると、「一時保育・預り保育等に関して」が7件と最も多く、次いで「子どもが遊べる環境に関して」と「その他」がともに4件となっています。

※自由回答の回答件数は22件で、複数の内容について触れている回答を個々の内容に分割した件数は28件でした。なお、一部の回答の記載において、回答の主旨を尊重しながら表現をまとめる等の修正をしています。



一時保育・預り保育等に関して
親が病気（風邪等も含む）になった際、子どもを緊急で一時的に見てもらえるサービス。
幼稚園の預かりが利用できない時に、その代わりに預けられる施設があったら良いと思う。
両親（特に母親）が病気等で周囲に依頼する人もいない場合、まったく子どもを見ることが出来ず不安があります。気軽に（事前登録等で）連絡でき、お願いできれば安心材料になると思います。
気軽に預けられるサポートがあるとよい。村内に親族がいないので買い物等の日常的な事で子どもが行くのを嫌がる時、無理やり連れていく事にストレスを感じる。また、仕方なく留守番させることもあるが心配。
親には気兼ねなく、子どもを預けられる施設があれば嬉しい。
気軽に預けられる環境がもっと欲しい。

子どもが未就園の時は自分の時間が全くなく、美容院や自分の病院等なかなか行くことが出来ずストレスがたまりました。保育園で2歳から預かってくれるサービスが、短時間でもとてもありがたかったです。できればもう少し小さい子どもも預かって頂けたら、ありがたいです。小さければ小さいほど自分の時間が無いので。
子どもが遊べる環境に関して
気軽に遊べる場所があり、そこに駐在している相談員等（土日も必要）がいるといい（厚木の子育て支援センターのような）。
気軽に行ける子どもの遊び場が無い（隣町に出かけるしかない）。厚木の支援センターのような施設が欲しい。
子には、安全に遊べる環境（公園等）があると嬉しい。
雨天でも子どものいられる施設（はいはい児、0～2歳の未就学児の中でも小さく3～6歳と一緒に遊ぶのは難しい子が遊べる場）
情報提供に関して
育児や教育に関する有益な情報、イベント情報（学校、地域）等の共有を、ITを活用して実施してほしい（できれば身近なLINE等を活用していただけると嬉しいです）。
制度を教えてくれる集まりがもっと欲しい。
予防接種を忘れがちなので、（予防接種の連絡等）助けてもらえるとよい。
相談支援に関して
何か問題がある時に、選択肢を分かりやすく提示してもらえると助かります。
自分が子育てで悩んだ際、子どもが通っている園の先生に話を聞いてもらうことができ、大変感謝しています。
子ども同士、親同士のつながりに関して
村の子ども（同世代）の集まりの場が欲しい。母子教室開放日が平日の為、保育園のお子様との繋がりが無く、日曜ももしできたら母だけでなく父が連れていくことも出来たり、一緒に参加してパパが見ている間はママ同士で話す場もできそう。
保育園に通っている子の親たちとのコミュニケーションの場。働くママさん達と顔を合わせる事が無く、なかなか知り合いが増えていかない。もう少しコミュニティを広げていけたら嬉しい。
経済的支援に関して
経済的補助がもっとほしい。
金銭的サポート。
子どもの習い事に関して
習い事のような学べる教室があると良い。土日等も短時間のお預かりがあると助かる。
送迎サービスに関して
習い事の送迎。
地域との関わりに関して
近所の方に自分の子どもの名前や顔を覚えていただいて、声をかけてもらえるととても安心します（見守ってもらえていると感じるため）。清川村はそのような環境が整っていると思います。

小学校生活に関して
PTA の活動が続けるのなら村全体でやるか（外部委託）、PTA を廃止するかとの2択でないと生活の負担が大きくなるので、早めに手を打ってもらいたいです。
その他
現状のままでいいと思います。
ママの一人時間を気遣ってもらって、それだけで十分に気持ちも体もサポートされてます（祖父母）。
おおらかな目でにこやかに見守ってもらえることが、一番ありがたいです。
人的サポートは充分です。

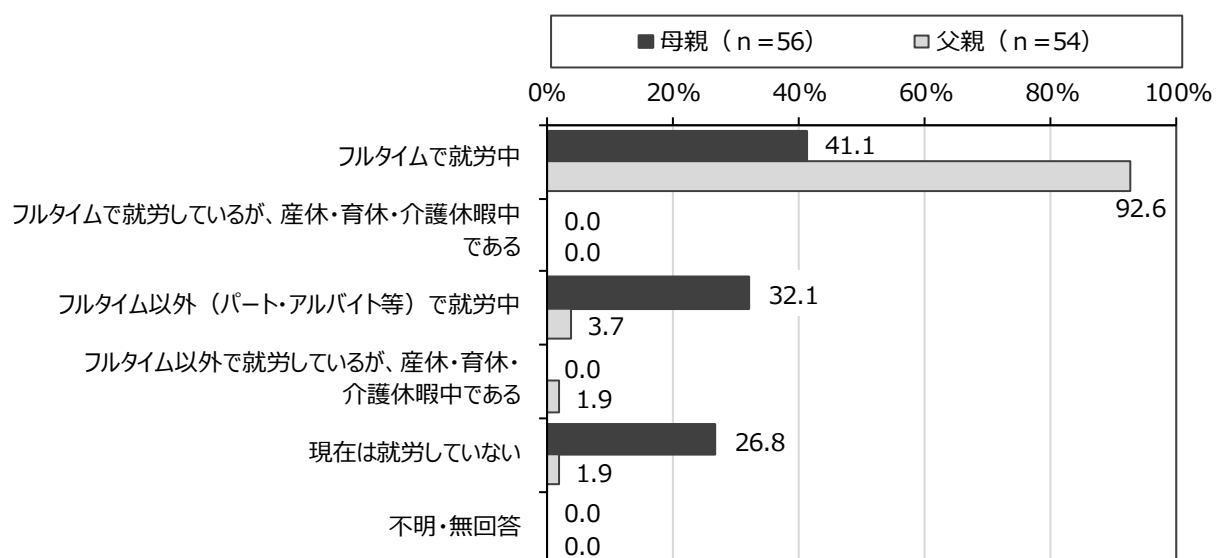
4 お子さんの保護者の就労状況について

問 14 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（単数回答）

■ 就労状況

母親の就労状況をみると、「フルタイムで就労中」が 41.1%と最も多く、次いで「フルタイム以外（パート・アルバイト等）で就労中」が 32.1%、「現在は就労していない」が 26.8%となっています。

父親の就労状況をみると、「フルタイムで就労中」が 92.6%と最も多く、次いで「フルタイム以外（パート・アルバイト等）で就労中」が 3.7%、「フルタイム以外で就労しているが、産休・育休・介護休暇中である」と「現在は就労していない」がともに 1.9%となっています。



■ 子どもの年齢別・母親の就労状況

母親の就労状況を子どもの年齢別でみると、「現在は就労していない」以外の項目を合わせた“就労している”では、「1歳」以上がいずれも60.0%以上となっており、特に「4歳」と「6歳」では90.0%と最も多くなっています。

単位:%

	n	就労している	就労していない	無回答
全体	56	73.2	26.8	0.0
0歳	2	0.0	100.0	0.0
1歳	5	60.0	40.0	0.0
2歳	10	60.0	40.0	0.0
3歳	5	80.0	20.0	0.0
4歳	10	90.0	10.0	0.0
5歳	13	69.2	30.8	0.0
6歳	10	90.0	10.0	0.0
不明・無回答	1	100.0	0.0	0.0

※グレー部分は、最多項目

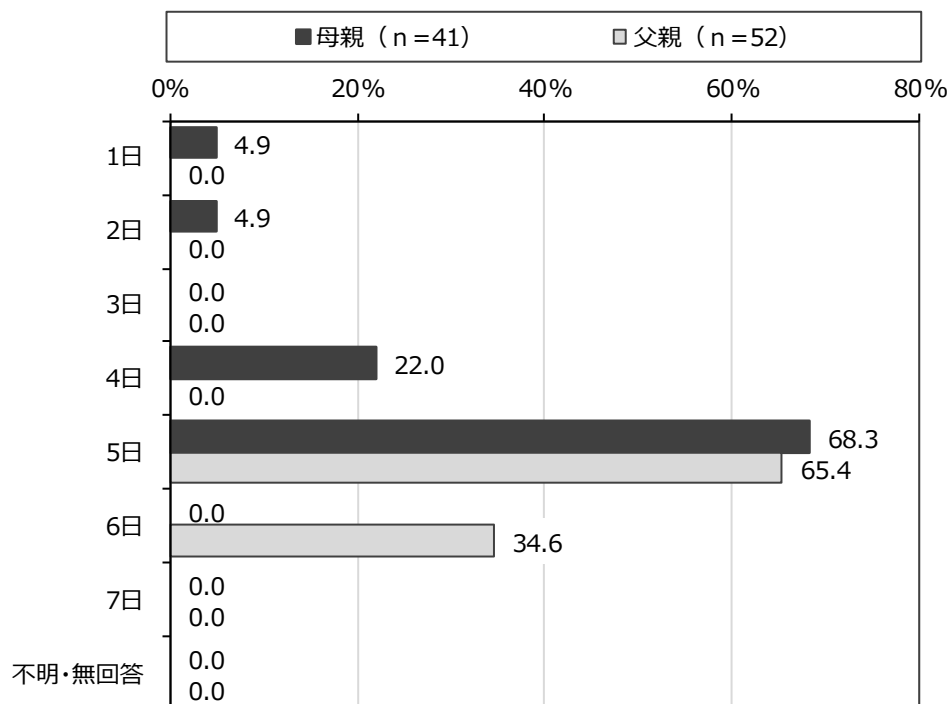
【問 14 で「現在は就労していない」以外を選んだ方】

問 15 週あたりの「就労日数」と1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時間と帰宅時間」についてお答えください。（数量回答）

■ 1 週あたりの就労日数

母親の就労日数をみると、「5日」が 68.3%と最も多く、次いで「4日」が 22.0%、「1 日」と「2日」がともに 4.9%となっています。

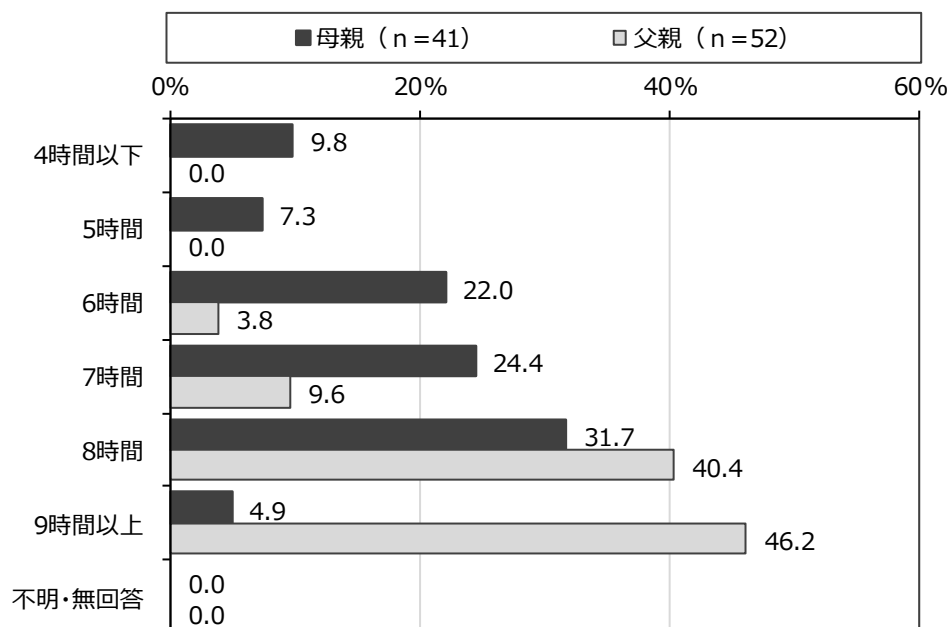
父親の就労日数をみると、「5日」が 65.4%と最も多く、次いで「6日」が 34.6%となっています。



■ 1日あたりの就労時間

母親の就労時間をみると、「8時間」が31.7%と最も多く、次いで「7時間」が24.4%、「6時間」が22.0%となっています。

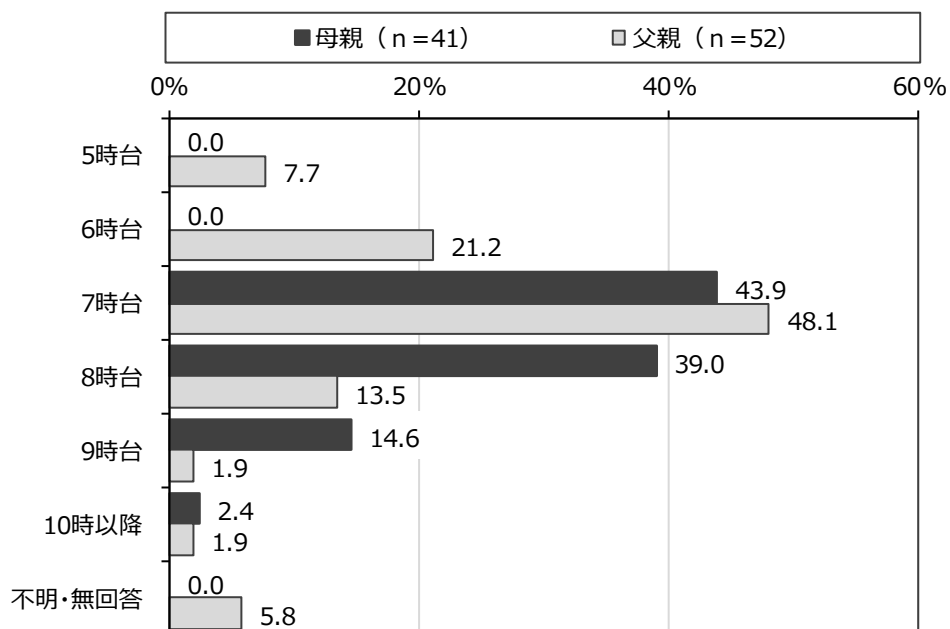
父親の就労時間をみると、「9時間以上」が46.2%と最も多く、次いで「8時間」が40.4%となっています。



■ 出勤時刻

母親の出勤時刻をみると、「7時台」が43.9%と最も多く、次いで「8時台」が39.0%、「9時台」が14.6%となっています。

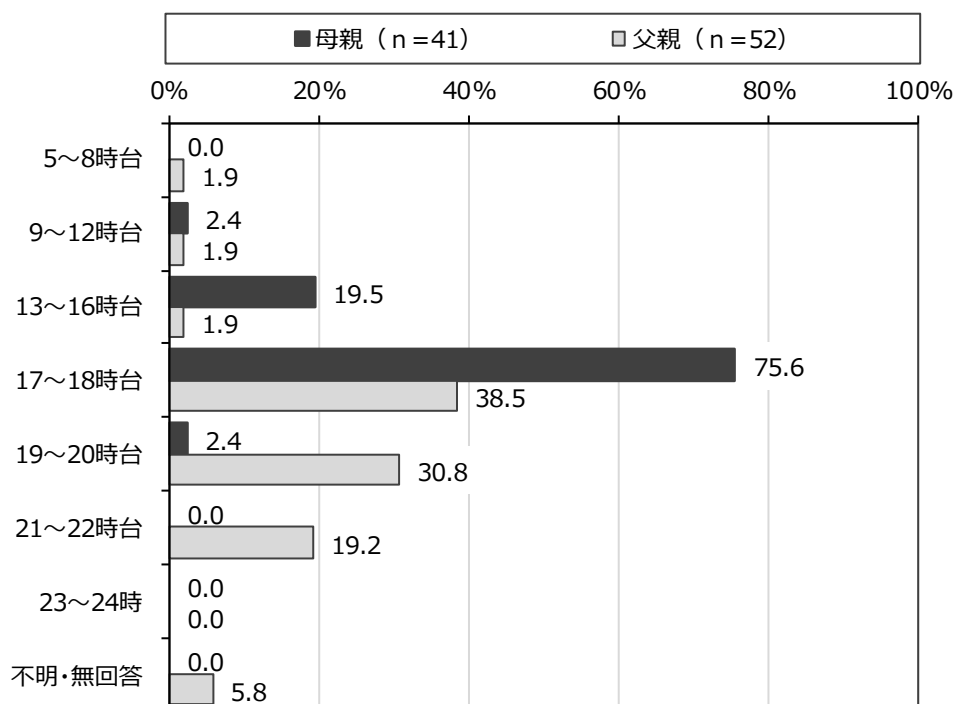
父親の出勤時刻をみると、「7時台」が48.1%と最も多く、次いで「6時台」が21.2%、「8時台」が13.5%となっています。



■ 帰宅時刻

母親の帰宅時刻をみると、「17～18時台」が75.6%と最も多く、次いで「13～16時台」が19.5%、「9～12時台」と「19～20時台」がともに2.4%となっています。

父親の帰宅時刻をみると、「17～18時台」が38.5%と最も多く、次いで「19～20時台」が30.8%、「21～22時台」が19.2%となっています。

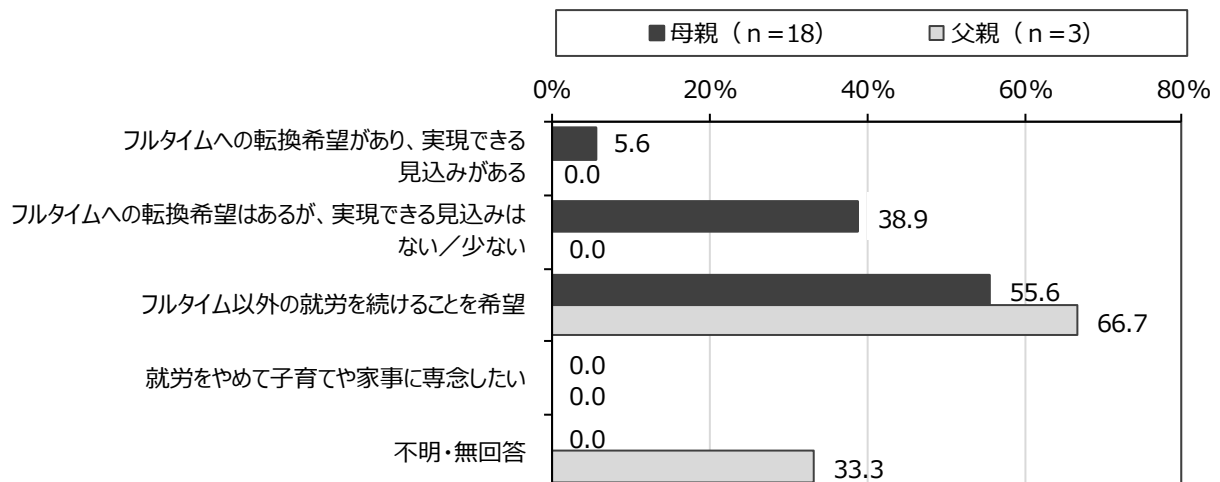


【問 14 の母親・父親のどちらかで、「フルタイム以外（パート・アルバイト等）で就労中」または「フルタイム以外で就労しているが、産休・育休・介護休暇中である」のいずれかに○を付けた方】

問 16 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度以上の就労）への転換希望はありますか。
（単数回答）

母親の転職希望をみると、「フルタイム以外の就労を続けることを希望」が55.6%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない／少ない」が38.9%となっています。

父親の転職希望をみると、「フルタイム以外の就労を続けることを希望」が66.7%となっています。



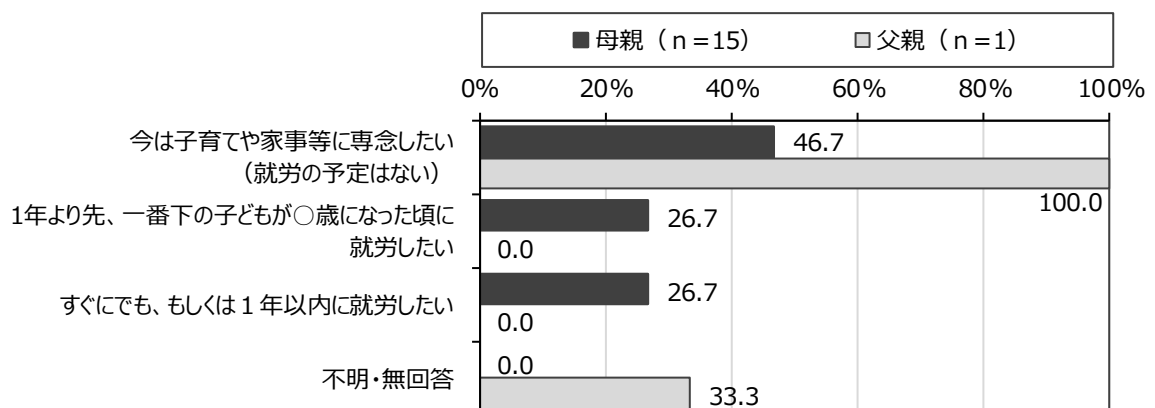
【問 14 で「現在は就労していない」に○をつけた方】

問 17 就労したいという希望はありますか。

■就労希望（単数回答）

母親の就労希望をみると、「今は子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない）」が46.7%と最も多く、次いで「1年より先、一番下の子どもが○歳になった頃に就労したい」と「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」がともに26.7%となっています。

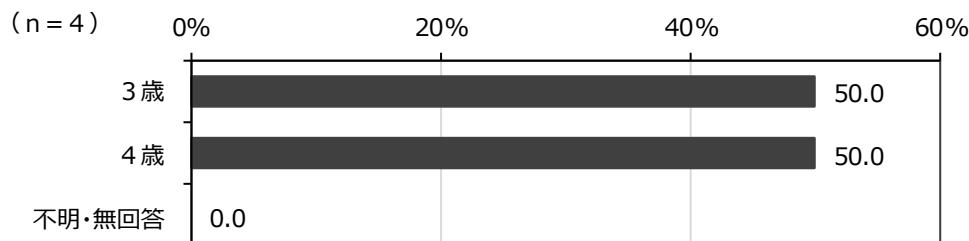
父親の就労希望をみると、「今は子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない）」が100.0%となっています。



■ 就労時期(「1 年より先、一番下の子どもが〇歳になった頃に就労したい」を選んだ方／数量回答)

母親の希望する就労時期をみると、「3歳」と「4歳」がともに 50.0%となっています。

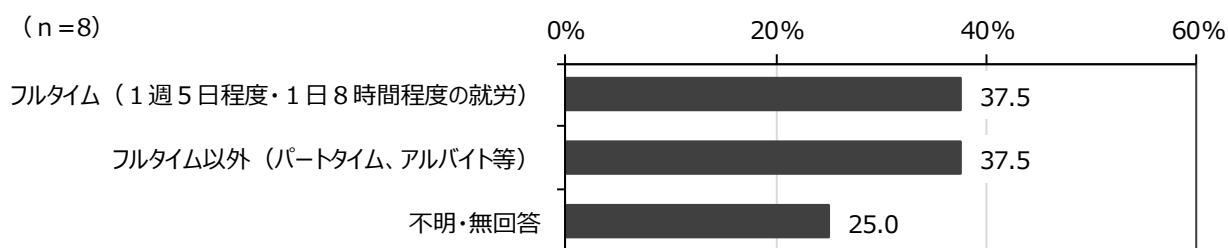
※父親の回答該当者は「0件」でした。



■ 希望する就労形態(「就労したい」を選んだ方／数量回答)

母親の希望する就労形態をみると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」と「フルタイム以外（パートタイム、アルバイト等）」がともに 37.5%となっています。

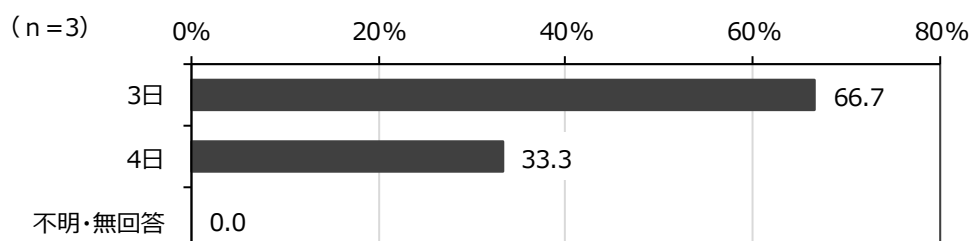
※父親の調査該当者は「0件」でした。



■ 「フルタイム以外」での1週あたり就労希望日数(「フルタイム以外」を選んだ方／数量回答)

母親の「フルタイム以外」での1週あたり就労希望日数をみると、「3日」が 66.7%と最も多く、次いで「4日」が 33.3%となっています。

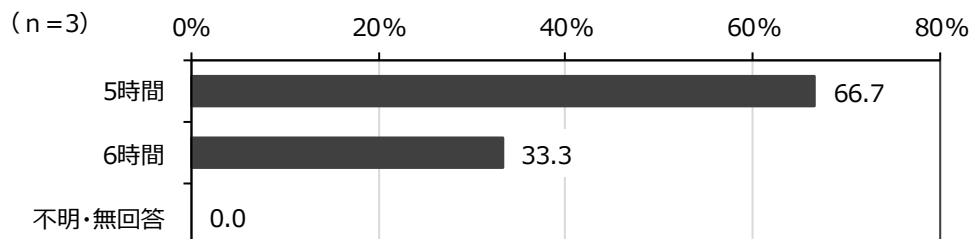
※父親の調査該当者は「0件」でした。



■「フルタイム以外」での1日あたり就労希望時間(「フルタイム以外」を選んだ方／数量回答)

母親の「フルタイム以外」での1日あたり就労希望時間をみると、「5時間」が66.7%と最も多く、次いで「6時間」が33.3%となっています。

※父親の調査該当者は「0件」でした。

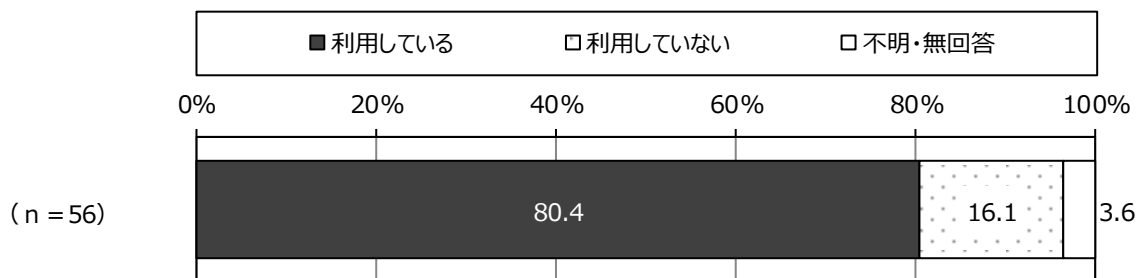


5 宛名のお子さんが通っている教育・保育施設の利用について

問 18 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園等の「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(単数回答)

■利用の有無

「利用している」が80.4%、「利用していない」が16.1%となっています。



■子どもの年齢別・利用の有無

利用の有無を子どもの年齢別でみると、「利用している」では、「2歳」以上がいずれも70%以上となっており、特に「4歳」では100.0%と最も多くなっています。

単位:%

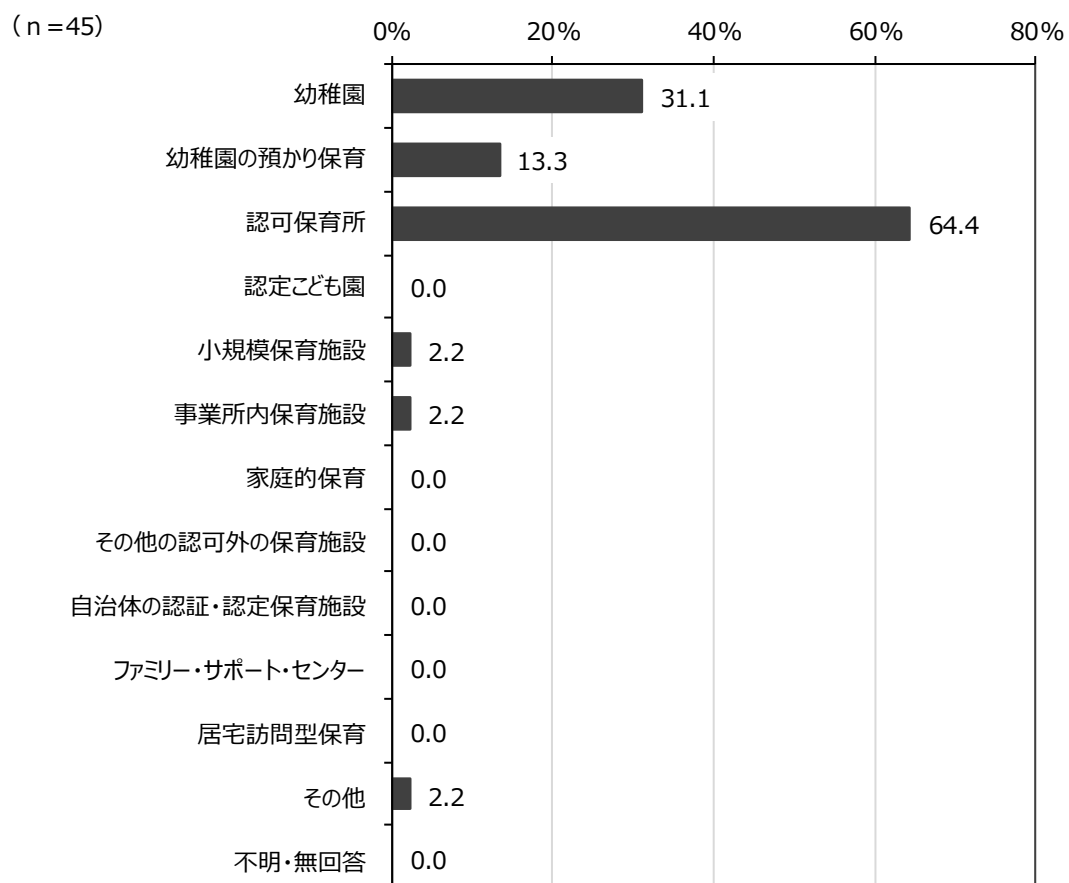
	n	利用している	利用していない	無回答
全体	56	80.4	16.1	3.6
0歳	2	0.0	100.0	0.0
1歳	5	40.0	40.0	20.0
2歳	10	70.0	30.0	0.0
3歳	5	80.0	20.0	0.0
4歳	10	100.0	0.0	0.0
5歳	13	92.3	0.0	7.7
6歳	10	90.0	10.0	0.0
不明・無回答	1	100.0	0.0	0.0

※グレー部分は、最多項目

【問 18 で「利用している」を選んだ方】

問 19 宛名のお子さんは現在、平日どのような「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。（複数回答）

「認可保育所」が 64.4%と最も多く、次いで「幼稚園」が 31.1%、「幼稚園の預かり保育」が 13.3%となっています。

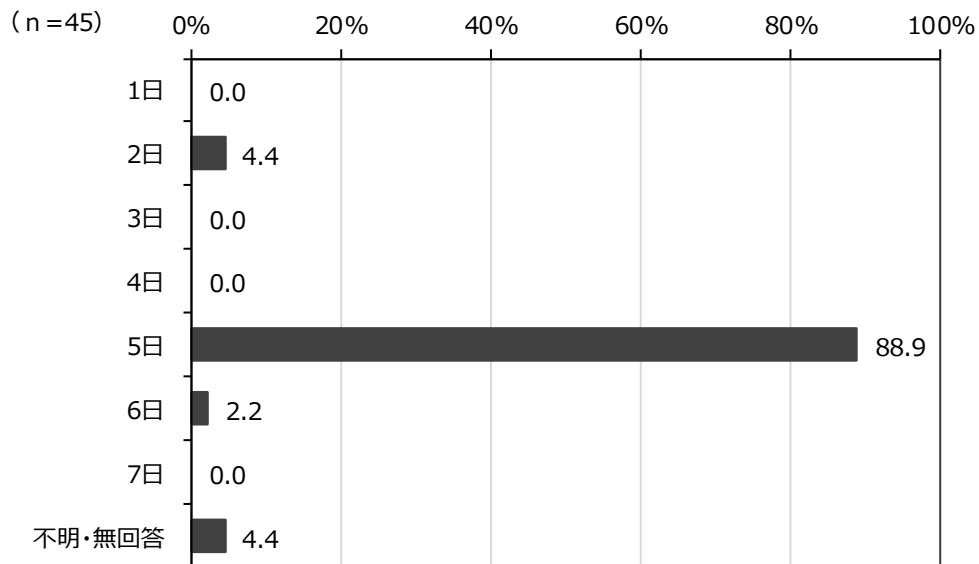


【問 18 で「利用している」を選んだ方】

問 20 問 18 で答えた事業はどのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。「現在」と「希望」それぞれについて、1 週あたり何日、1 日あたり何時間（何時から何時まで）かを数字でご記入ください。

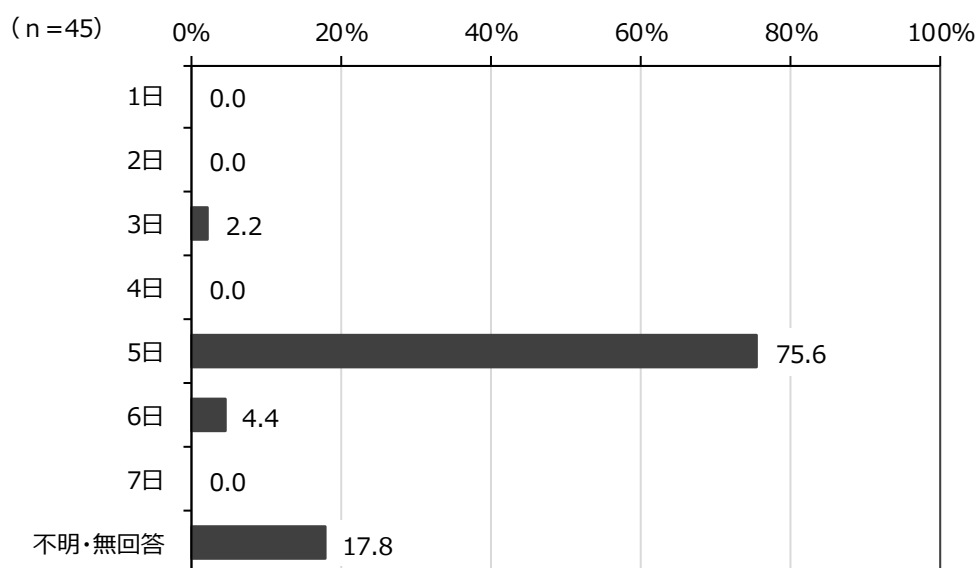
■ 現在の 1 週あたりの利用日数（数量回答）

「5 日」が 88.9% と最も多く、次いで「2 日」が 4.4% となっています。



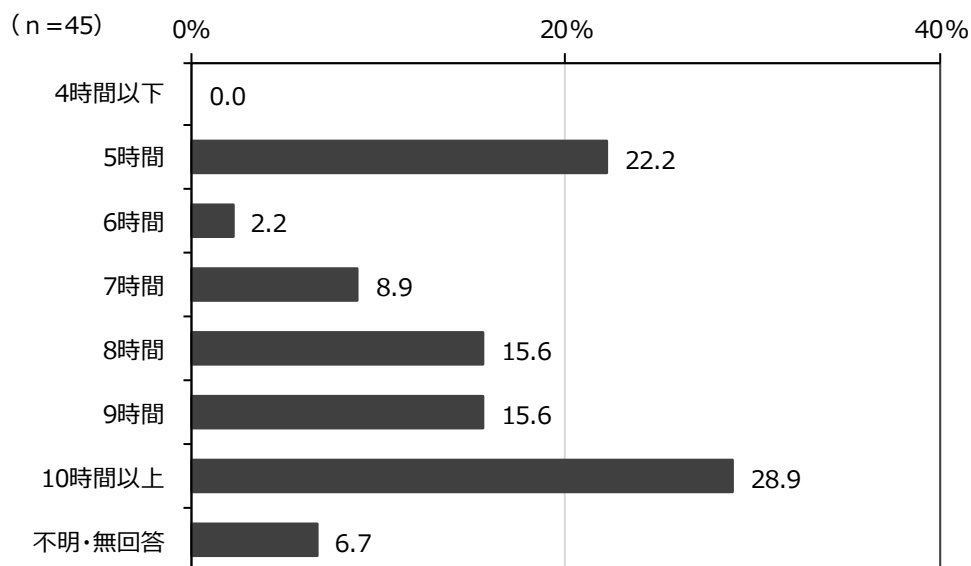
■ 希望の 1 週あたりの利用日数（数量回答）

「5 日」が 75.6% と最も多く、次いで「6 日」が 4.4% となっています。



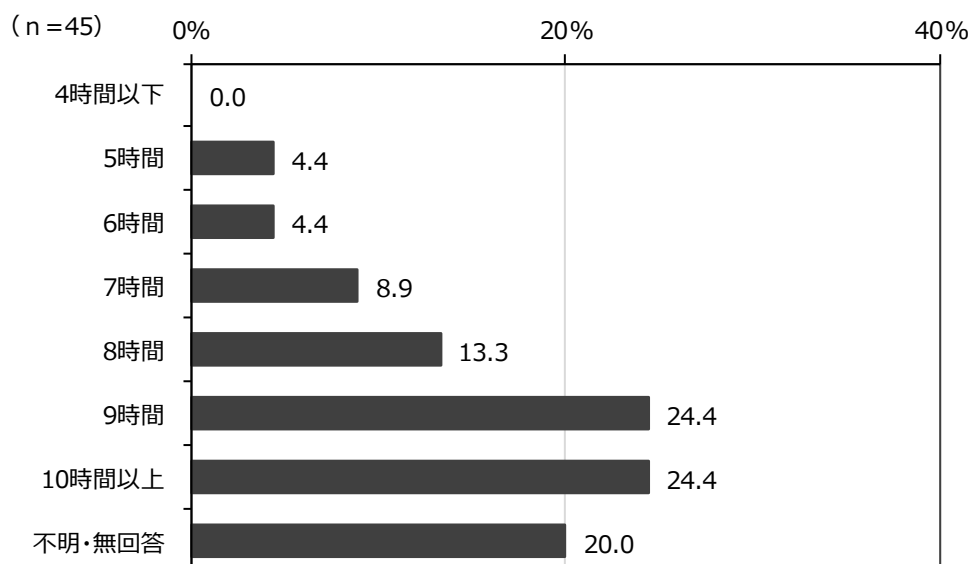
■現在の1日あたりの利用時間（数量回答）

「10時間以上」が28.9%と最も多く、次いで「5時間」が22.2%となっています。



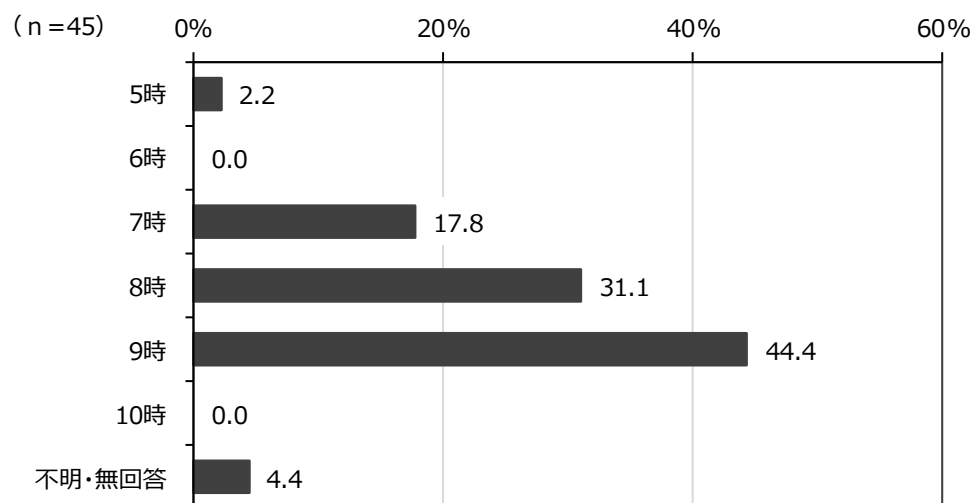
■希望の1日あたりの利用時間（数量回答）

「9時間」と「10時間以上」がともに24.4%と最も多く、次いで「8時間」が13.3%となっています。



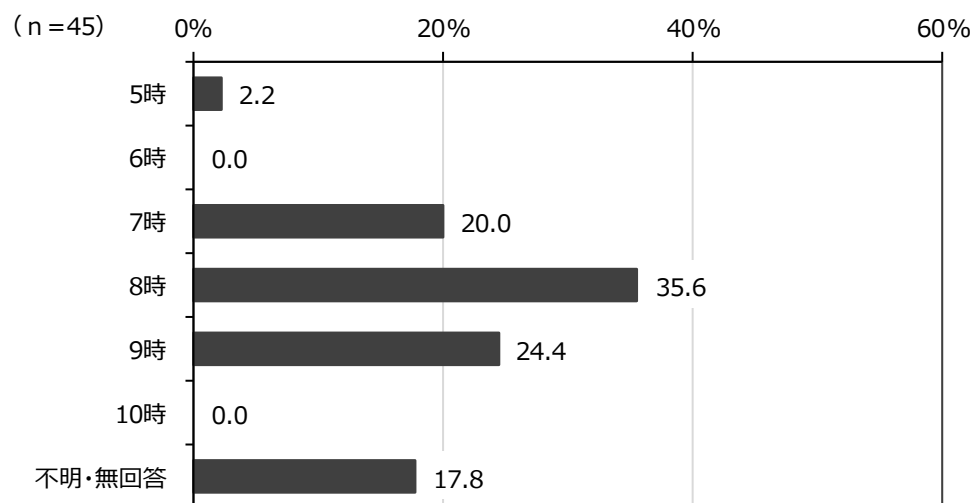
■ 現在の利用開始時刻（数量回答）

「9時」が44.4%と最も多く、次いで「8時」が31.1%となっています。



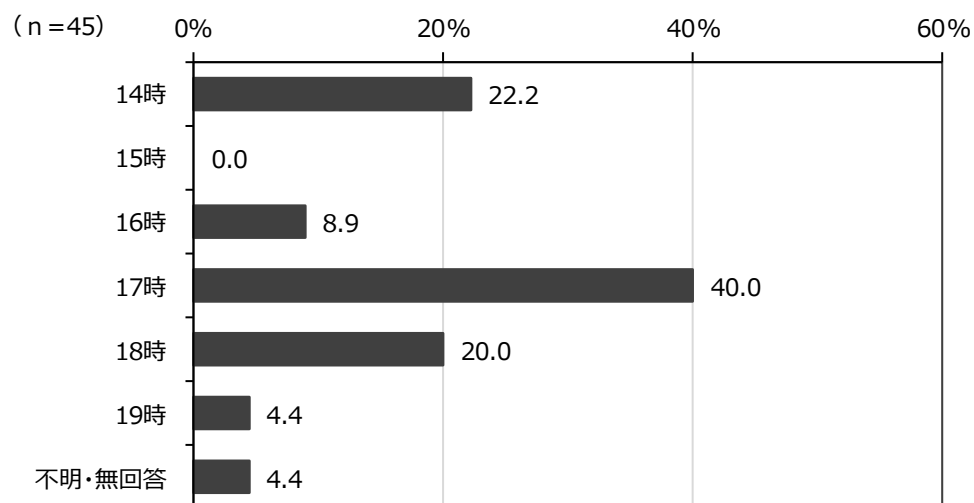
■ 希望の利用開始時刻（数量回答）

「8時」が35.6%と最も多く、次いで「9時」が24.4%となっています。



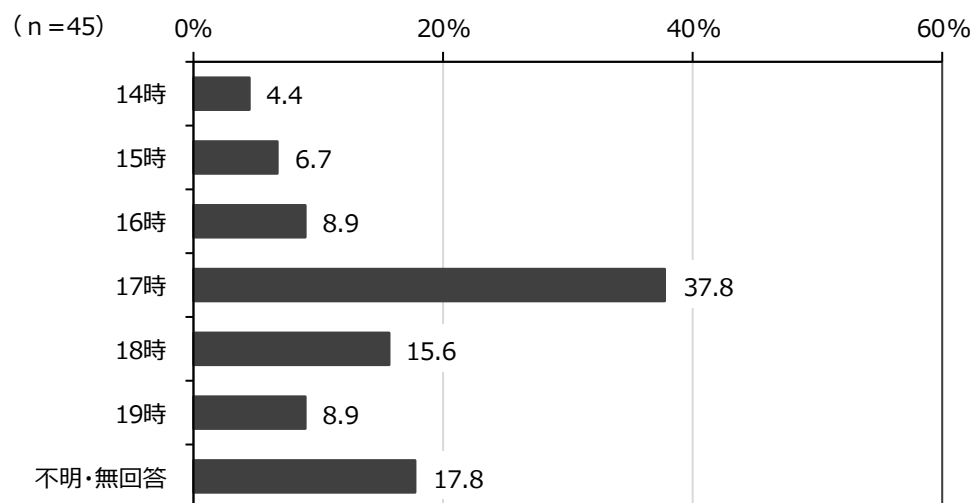
■現在の利用終了時刻（数量回答）

「17時」が40.0%と最も多く、次いで「14時」が22.2%となっています。



■希望の利用終了時刻（数量回答）

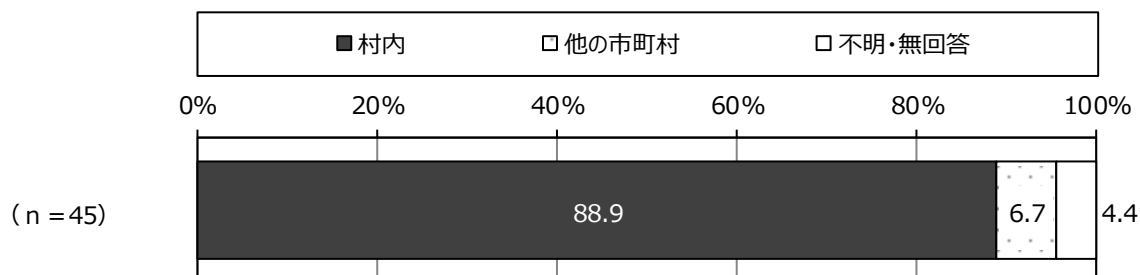
「17時」が37.8%と最も多く、次いで「18時」が15.6%となっています。



【問 18 で「利用している」を選んだ方】

問 21 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどちらですか。（単数回答）

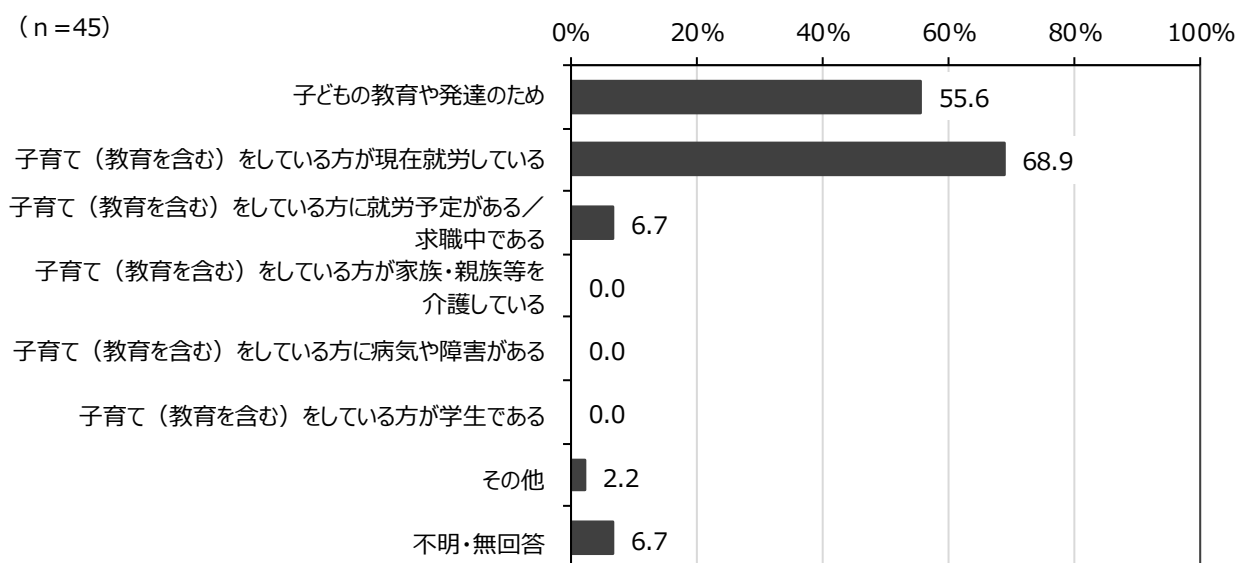
「村内」が88.9%、「他の市町村」が6.7%となっています。



【問 18 で「利用している」を選んだ方】

問 22 問 18 で答えた平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由は何ですか。（複数回答）

「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が68.9%と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が55.6%となっています。

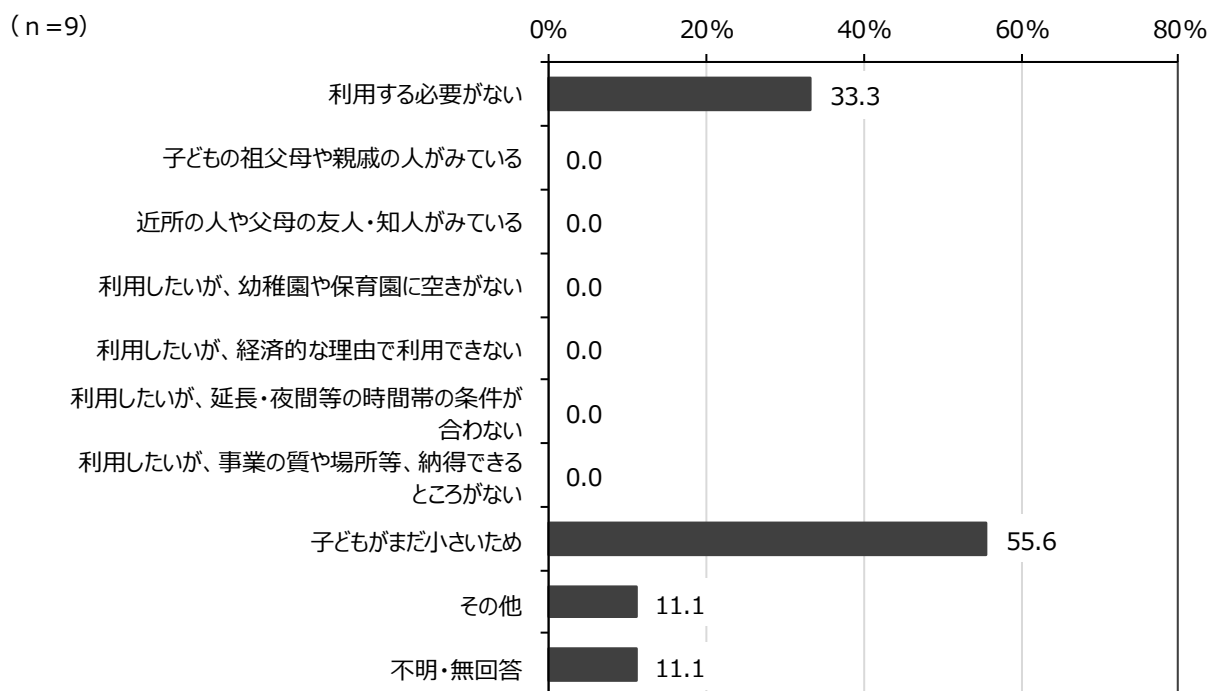


【問 18 で「利用していない」を選んだ方】

問 23 問 18 で答えた平日に定期的に教育・保育の事業を利用していない理由は何ですか。

(単数回答)

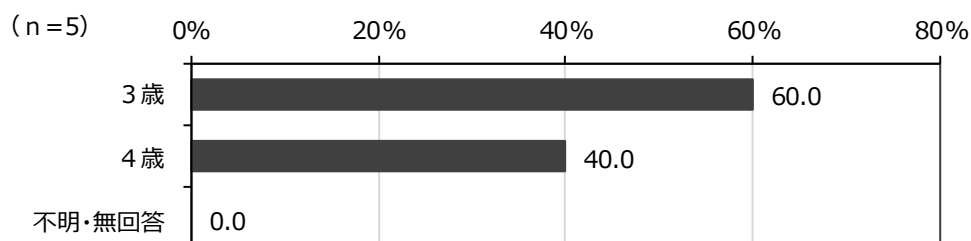
「子どもがまだ小さいため」が 55.6%と最も多く、次いで「利用する必要がある」が 33.3%となっています。



■「定期的な教育・保育の事業」を利用しようと思っている子どもの年齢

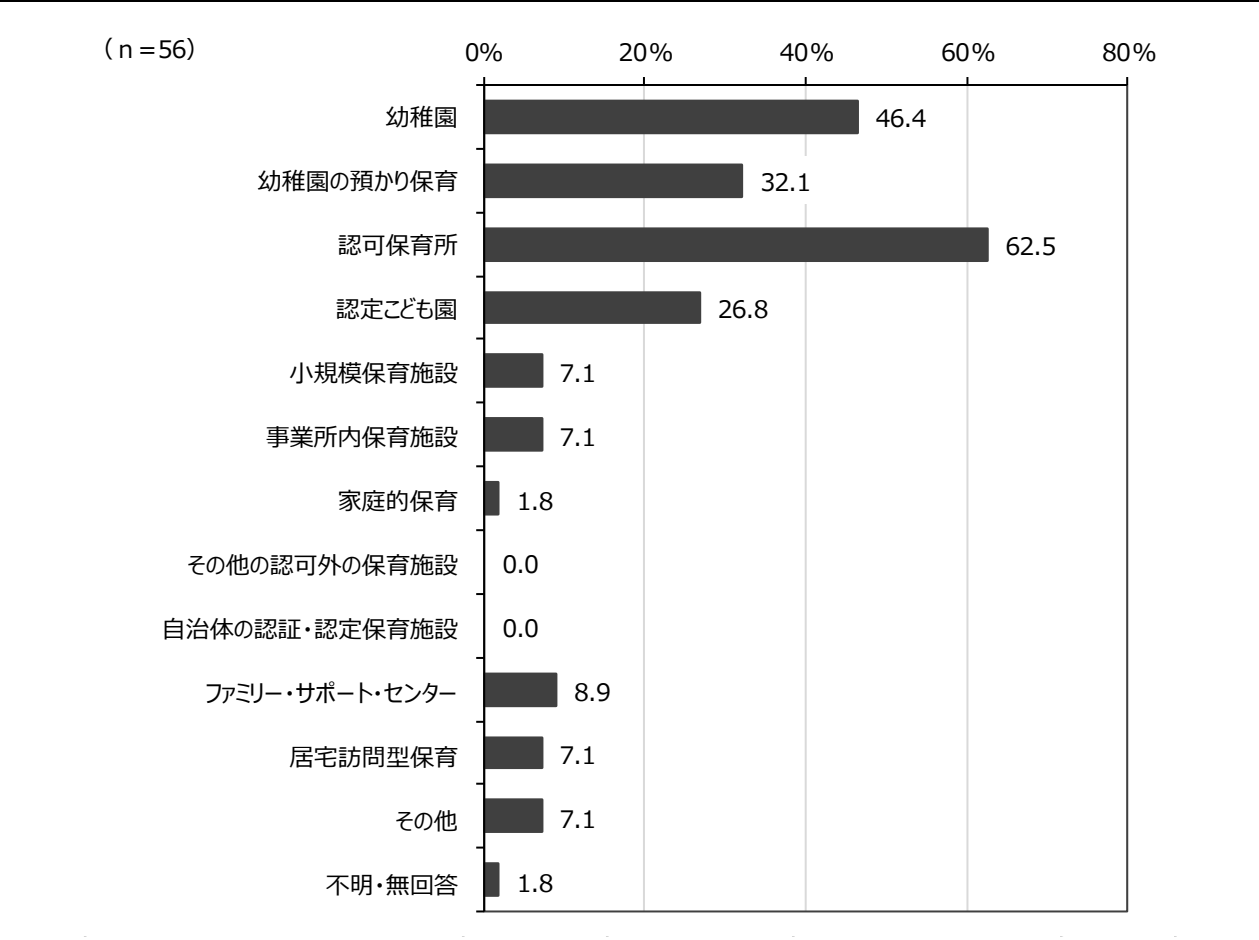
(「子どもがまだ小さいため」を選んだ方／数量回答)

「3歳」が 60.0%と最も多く、次いで「4歳」が 40.0%となっています。



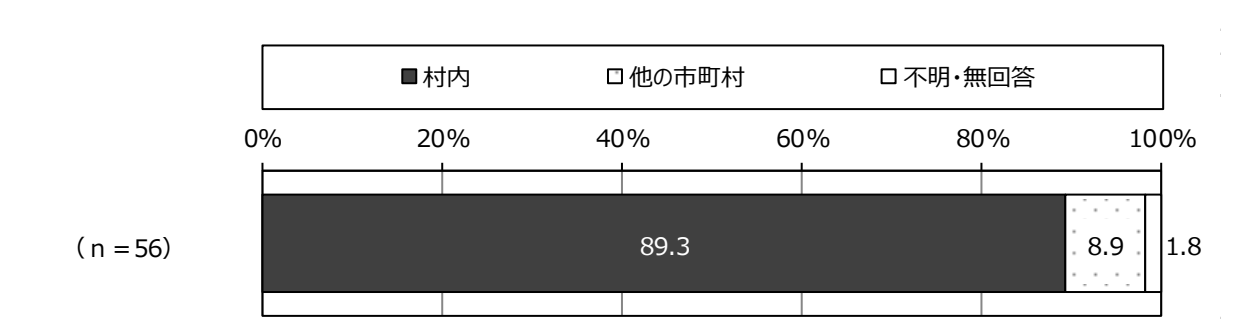
問 24 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（複数回答）

「認可保育所」が62.5%と最も多く、次いで「幼稚園」が46.4%、「幼稚園の預かり保育」が32.1%、「認定こども園」が26.8%となっています。



問 25 問 24 で答えた事業を利用したい場所はどちらですか。（単数回答）

「村内」が89.3%、「他の市町村」が8.9%となっています。



問 26 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育を併せて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（単数回答）

「はい」が100.0%となっています。

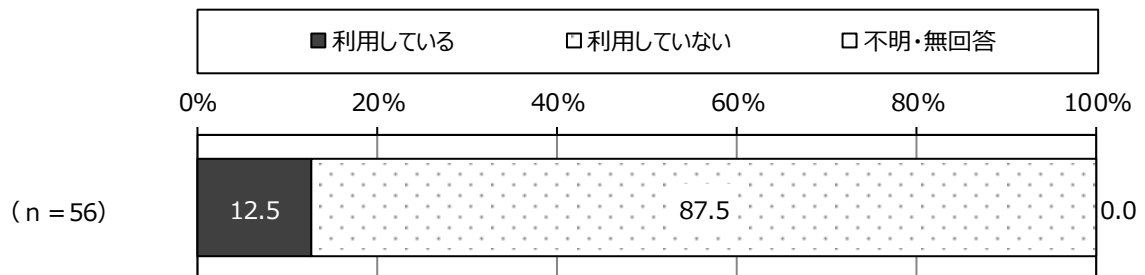


6 地域の子育て支援事業の利用状況について

問 27 宛名のお子さんは現在、地域子育て支援の場を利用していますか。

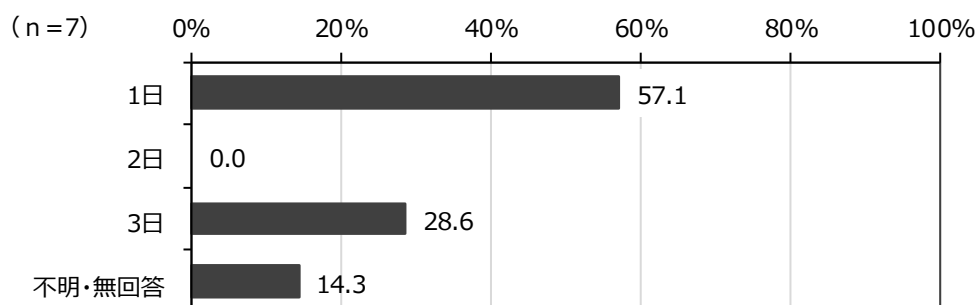
■ 現在の利用状況（単数回答）

「利用している」が12.5%、「利用していない」が87.5%となっています。



■ 1ヶ月あたりの利用日数（「利用している」を選んだ方／数量回答）

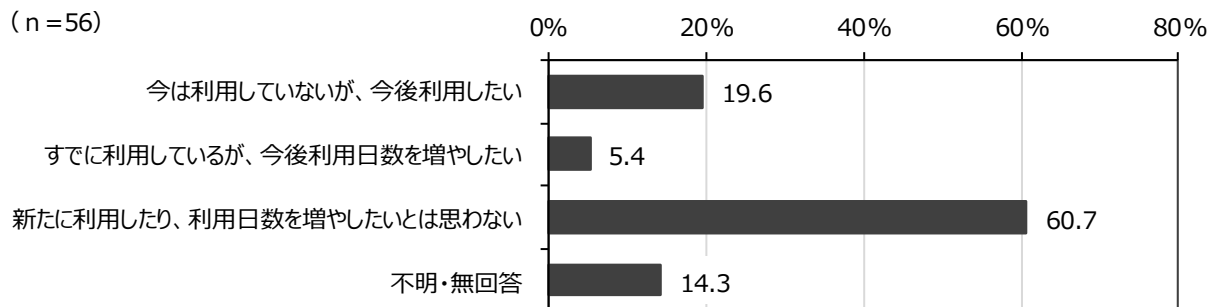
「1日」が57.1%と最も多く、次いで「3日」が28.6%となっています。



問 28 問 27 の地域子育て支援の場について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、今後利用日数を増やしたいと思いますか。

■ 今後の利用意向（単数回答）

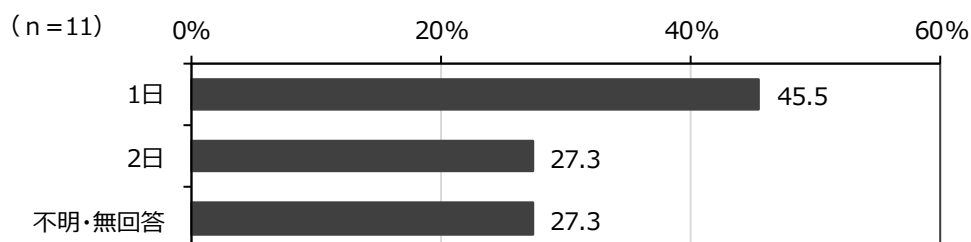
「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 60.7%と最も多くなっています。一方、「今は利用していないが、今後利用したい」が 19.6%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 5.4%となっています。



■ 新規利用の方の 1 ヶ月あたりの利用希望日数

(「今は利用していないが、今後利用したい」を選んだ方／数量回答)

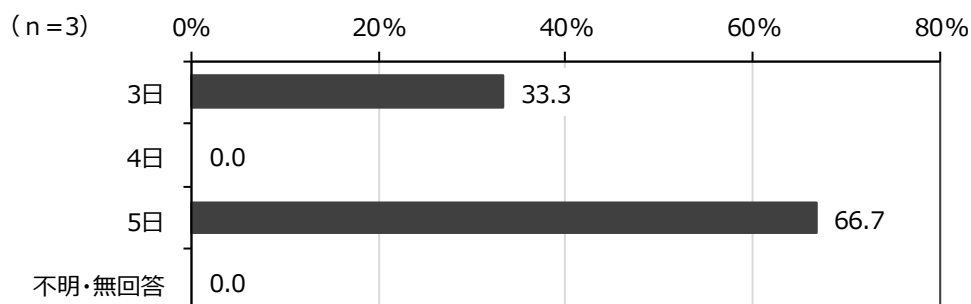
「1 日」が 45.5%と最も多く、次いで「2 日」が 27.3%となっています。



■ 利用日数を増やしたい方の 1 ヶ月あたりの利用希望日数

(「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」を選んだ方／数量回答)

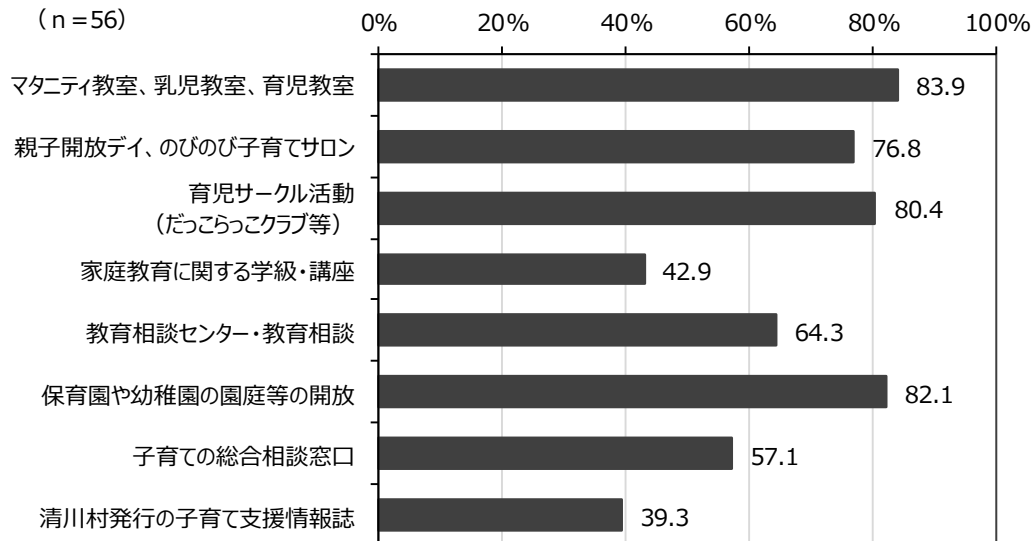
「5 日」が 66.7%と最も多く、次いで「3 日」が 33.3%となっています。



問 29 次の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものそれぞれについて、お答えください。

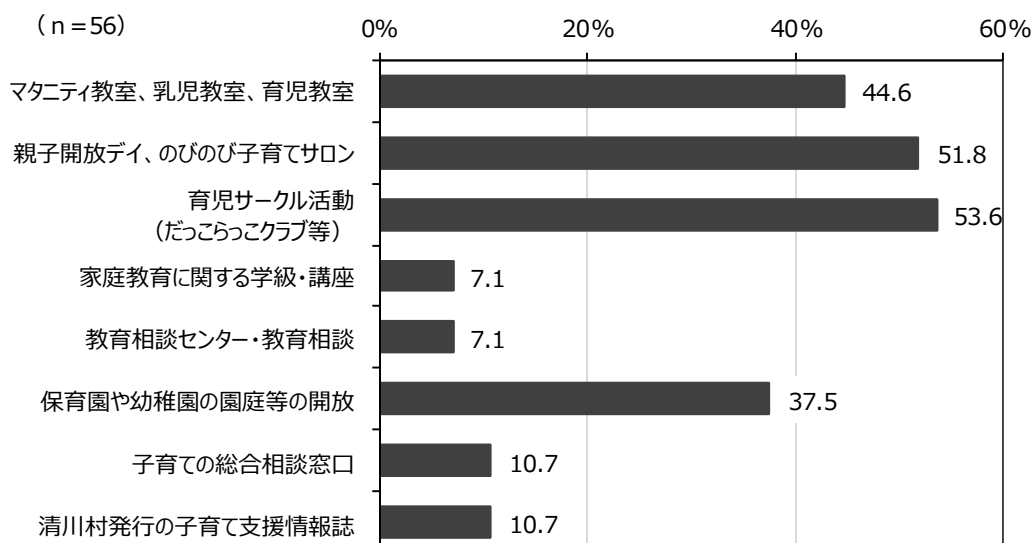
■ 知っている事業（単数回答）

“知っている”に「はい」と回答された人を見ると、「マタニティ教室、乳児教室、育児教室」が83.9%と最も多く、次いで「保育園や幼稚園の園庭等の開放」が82.1%、「育児サークル活動（だっこらっこクラブ等）」が80.4%となっています。一方、認知が低い事業では、「清川村発行の子育て支援情報誌」が39.3%、「家庭教育に関する学級・講座」が42.9%となっています。



■ 利用したことがある事業（単数回答）

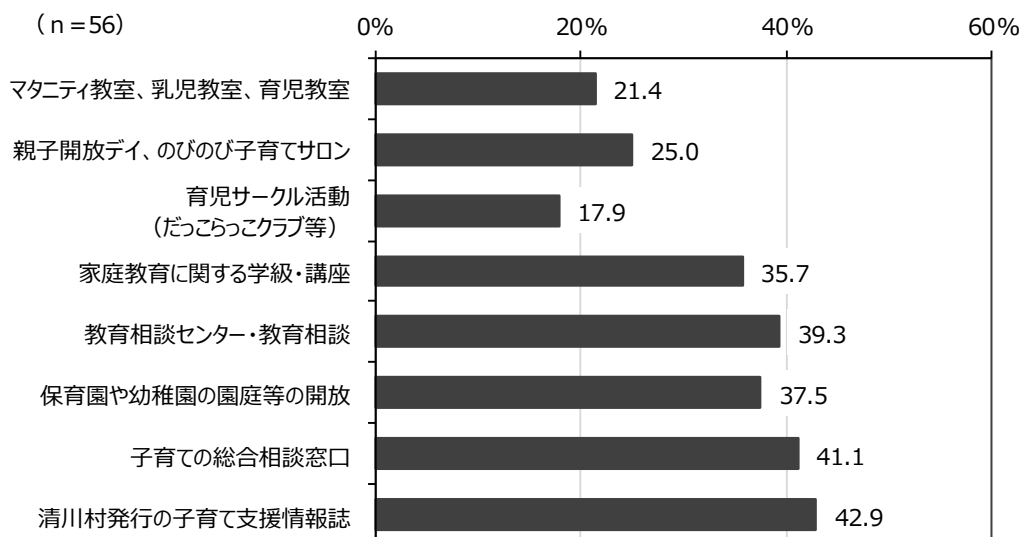
“これまでに利用したことがある”に「はい」と回答された人を見ると、「育児サークル活動（だっこらっこクラブ等）」が53.6%と最も多く、次いで「親子開放デイ、のびのび子育てサロン」が51.8%、「マタニティ教室、乳児教室、育児教室」が44.6%となっています。一方、利用が少ない事業では、「家庭教育に関する学級・講座」と「教育相談センター・教育相談」がともに7.1%、「子育ての総合相談窓口」と「清川村発行の子育て支援情報誌」がともに10.7%となっています。



■ 今後利用したい事業（単数回答）

“今後利用したい”に「はい」と回答された人をみると、「清川村発行の子育て支援情報誌」が 42.9%と最も多く、次いで「子育ての総合相談窓口」が 41.1%、「教育相談センター・教育相談」が 39.3%となっています。

一方、今後の利用意向が少ない事業では、「育児サークル活動（だっこらっこクラブ等）」が 17.9%、「マタニティ教室、乳児教室、育児教室」が 21.4%となっています。



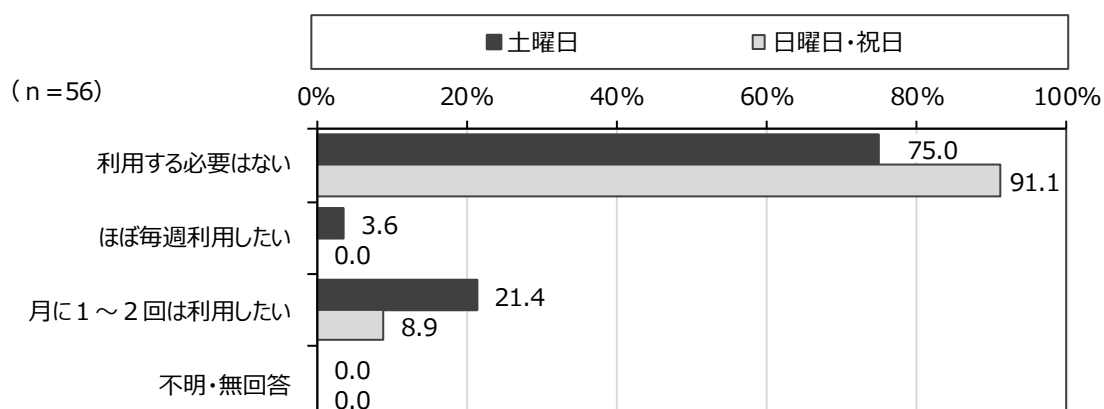
7 宛名のお子さんの「土曜・休日や長期休暇中の保育園・幼稚園等」の今後の利用希望について

問 30 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の今後の利用希望はありますか。

■ 土曜日と日曜日・祝日の利用希望（単数回答）

土曜日の利用希望をみると、「利用する必要はない」が75.0%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が21.4%、「ほぼ毎週利用したい」が3.6%となっています。

日曜日・祝日の利用希望をみると、「利用する必要はない」が91.1%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が8.9%となっています。

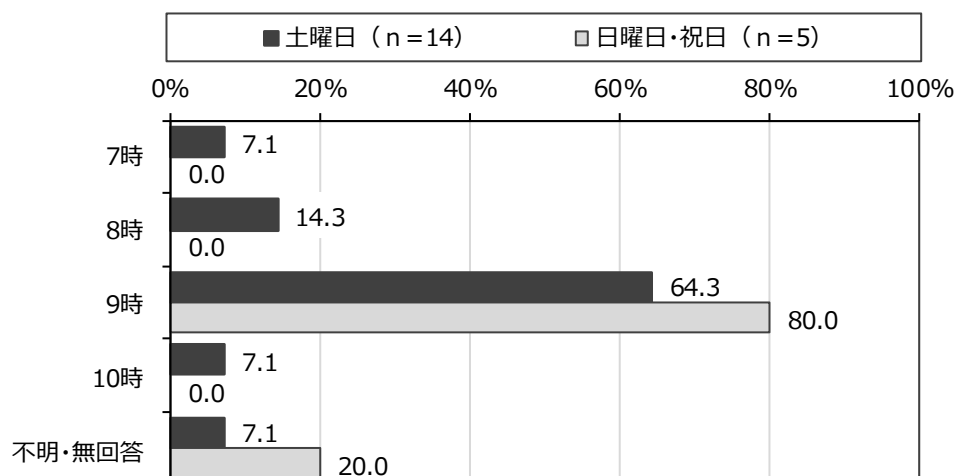


■ 土曜日と日曜日・祝日の希望開始時刻

（「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」を選んだ方／数量回答）

土曜日の希望開始時刻をみると、「9時」が64.3%と最も多く、次いで「8時」が14.3%となっています。

日曜日・祝日の希望開始時刻をみると、「9時」が80.0%となっています。

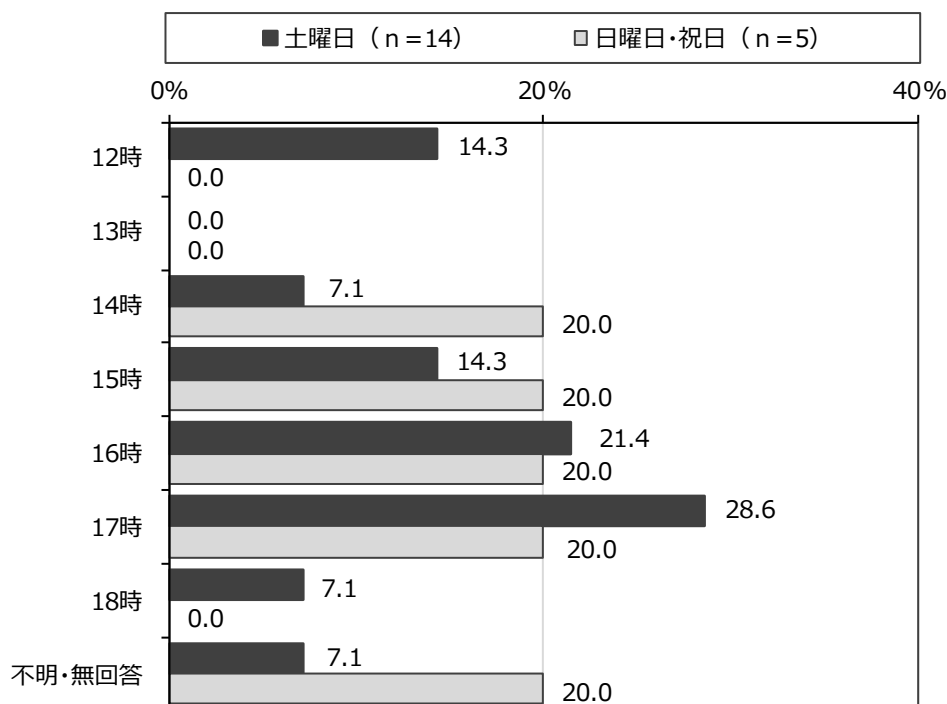


■ 土曜日と日曜日・祝日の希望終了時刻

（「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」を選んだ方／数量回答）

土曜日の希望終了時刻をみると、「17 時」が 28.6%と最も多く、次いで「16 時」が 21.4%となっています。

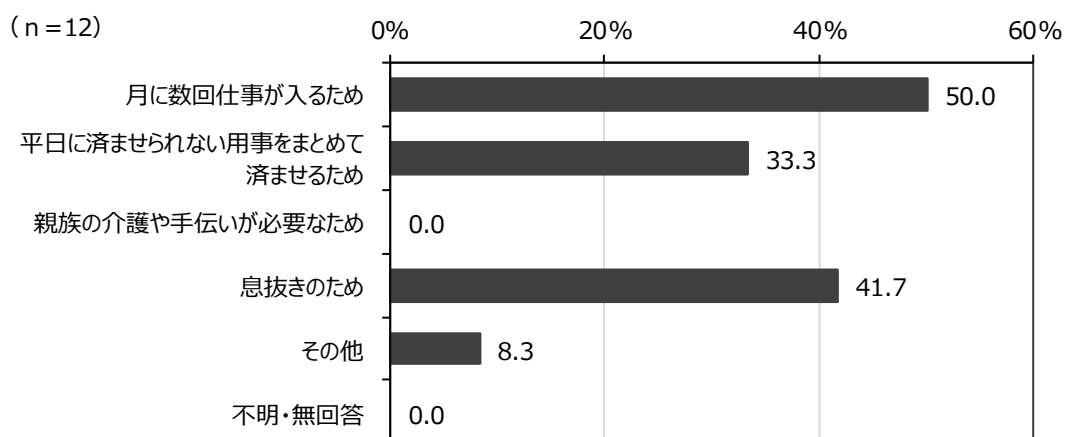
日曜日・祝日の希望終了時刻をみると、「14 時」から「17 時」がいずれも 20.0%となっています。



【問 30 の土曜日又は日曜・祝日で「月に1～2回は利用したい」を選んだ方】

問 31 毎週ではなく、月に1～2回利用したい理由は何ですか。（複数回答）

「月に数回仕事が入るため」が 50.0%と最も多く、次いで「息抜きのため」が 41.7%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 33.3%となっています。

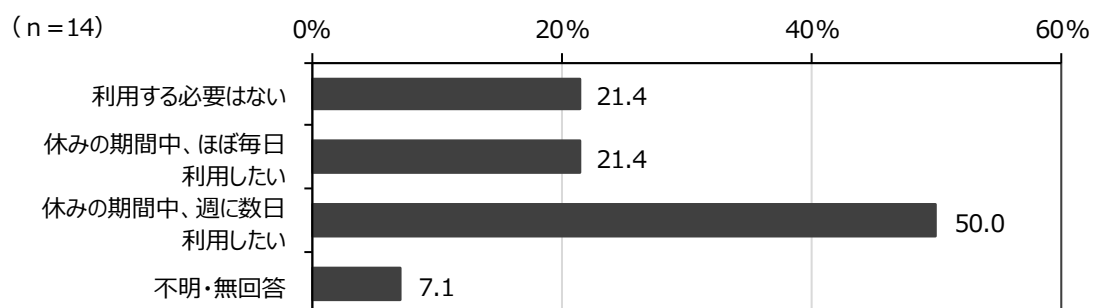


【「幼稚園」を利用されている方】

問 32 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休み等長期の休暇期間中の教育・保育の事業の今後の利用希望はありますか。

■ 今後の利用意向（単数回答）

「休みの期間中、週に数日利用したい」が 50.0%と最も多く、次いで「利用する必要はない」と「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」がともに 21.4%となっています。



■ 休暇期間中・利用希望の開始時刻

（「ほぼ毎週利用したい」「週に数日利用したい」を選んだ方／数量回答）

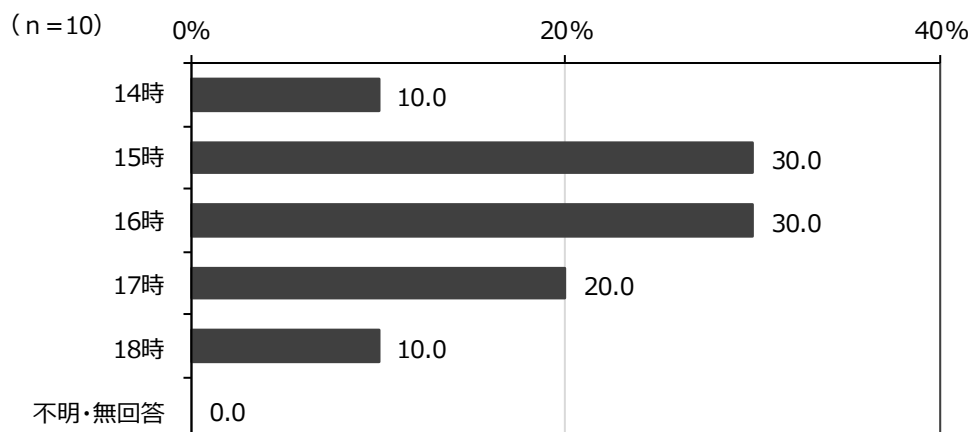
「9時」が 90.0%と最も多く、次いで「8時」が 10.0%となっています。



■ 休暇期間中・利用希望の終了時刻

（「ほぼ毎週利用したい」「週に数日利用したい」を選んだ方／数量回答）

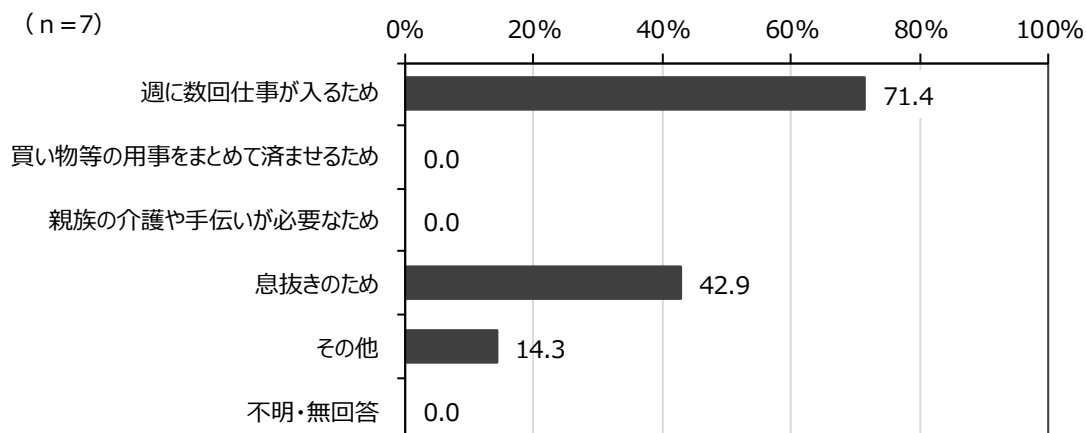
「15時」と「16時」がともに 30.0%と最も多く、次いで「17時」が 20.0%となっています。



【問 32 で「休みの期間中、週に数日利用したい」を選んだ方】

問 33 毎日ではなく、週に数日利用したい理由は何ですか。（複数回答）

「週に数回仕事が入るため」が 71.4%と最も多く、次いで「息抜きのため」が 42.9%となっています。

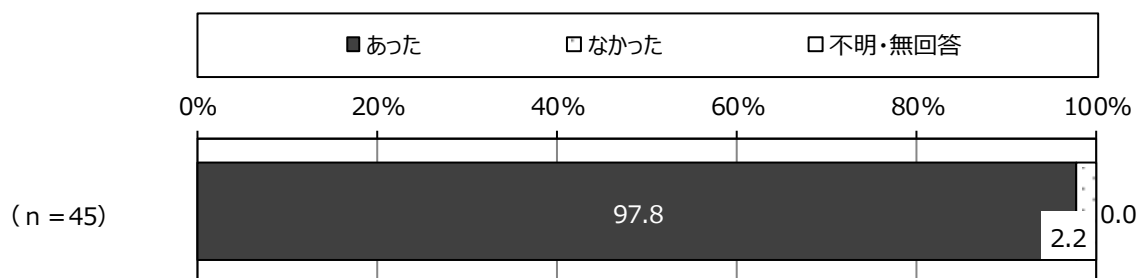


8 宛名のお子さんの病気の際の対応について

【問 18 で「(定期的な教育・保育事業を) 利用している」を選んだ方】

問 34 この 1 年間でお子さんが病気やケガで保育園や幼稚園等を休んだことがありますか。（単数回答）

「あった」が 97.8%、「なかった」が 2.2%となっています。

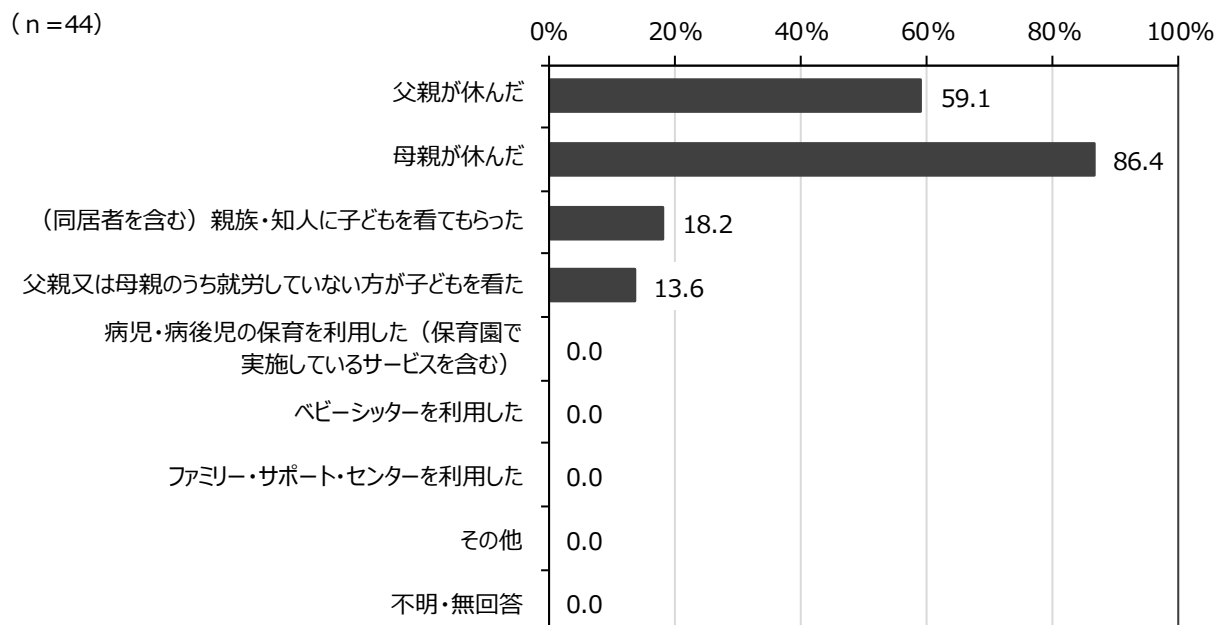


【問 34 で「あった」を選んだ方】

**問 35 お子さんが病気やケガで普段利用している事業が利用できなかった場合に、この 1 年間に
行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○を付け、それぞれの利用日数もご記入く
ださい。**

■ 1 年間に行った対処方法（複数回答）

「母親が休んだ」が 86.4%と最も多く、次いで、「父親が休んだ」が 59.1%、「（同居者を含む）
親族・知人に子どもを看てもらった」が 18.2%となっています。



■ 子どもが病気やケガの際の対処日数（数量回答）

「父親が休んだ」では「3～5日」(46.2%) が、「母親が休んだ」と「父親又は母親のうち就労し
ていない方が子どもを看た」ではともに「15 日以上」(母親が休んだ 39.5%/就労していない方が
看た 33.3%) が、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった」では「10～14 日」(37.5%)
が最も多くなっています。

単位: %

	n	1～2日	3～5日	6～9日	10～14日	15日以上	無回答
父親が休んだ	26	11.5	46.2	0.0	11.5	11.5	19.2
母親が休んだ	38	7.9	13.2	2.6	21.1	39.5	15.8
(同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった	8	12.5	25.0	0.0	37.5	25.0	0.0
父親又は母親のうち 就労していない方が子どもを看た	6	0.0	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7

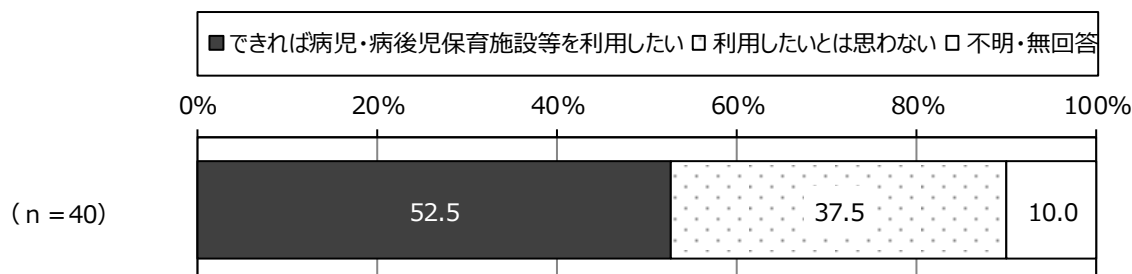
※グレー部分は、最多項目

【問 35 で「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかを選んだ方】

問 36 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

(単数回答)

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 52.5%、「利用したいとは思わない」が 37.5% となっています。

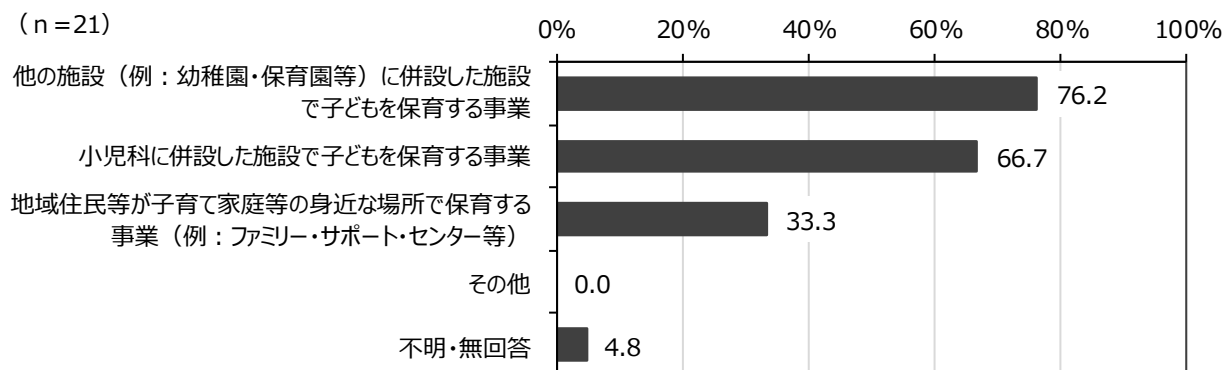


【問 36 で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選んだ方】

問 37 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。

(複数回答)

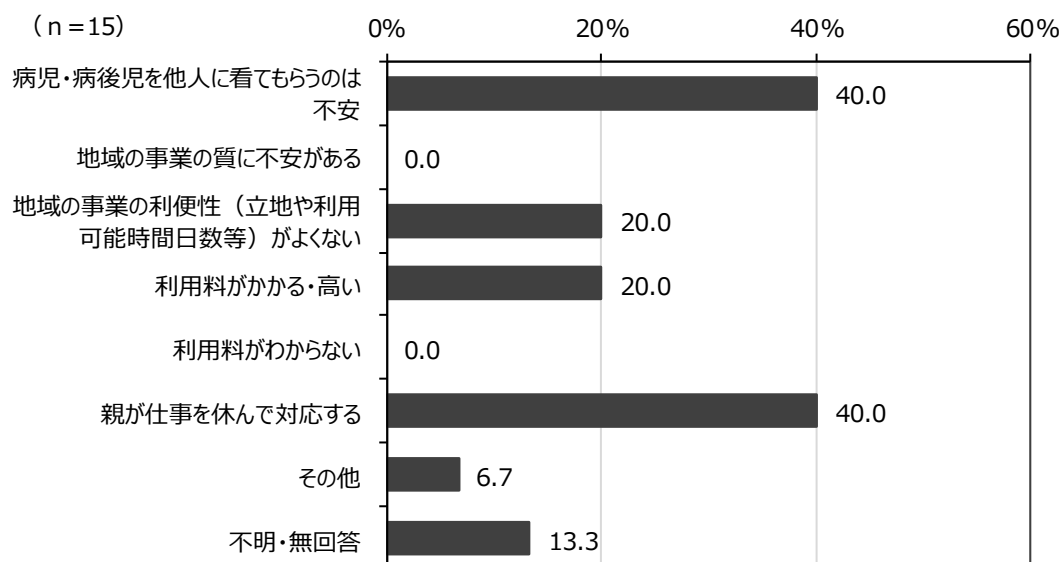
「他の施設（例：幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が 76.2%と最も多く、次いで「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 66.7%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」が 33.3%となっています。



【問 36 で「利用したいとは思わない」を選んだ方】

問 38 そう思われる理由は何ですか。（複数回答）

「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」と「親が仕事を休んで対応する」がともに 40.0%と最も多く、次いで「地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数等）がよくない」と「利用料がかかる・高い」がともに 20.0%となっています。

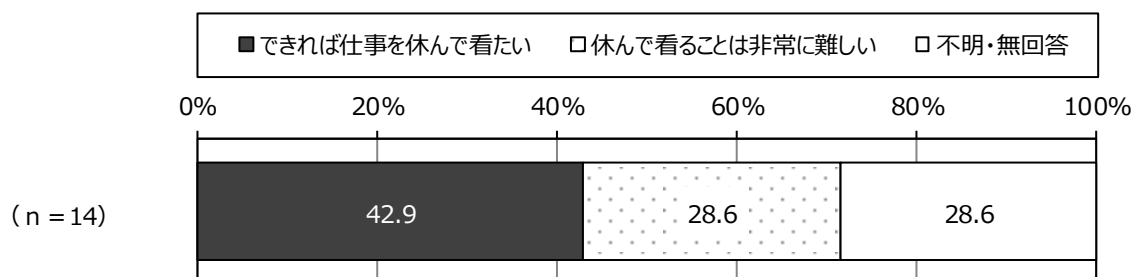


【問 35 で「父親が休んだ」「母親が休んだ」以外を選んだ方】

問 39 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。また、仕事を休んで看たい場合は、「親族・知人に子どもを看てもらった」から「その他」の利用日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください。

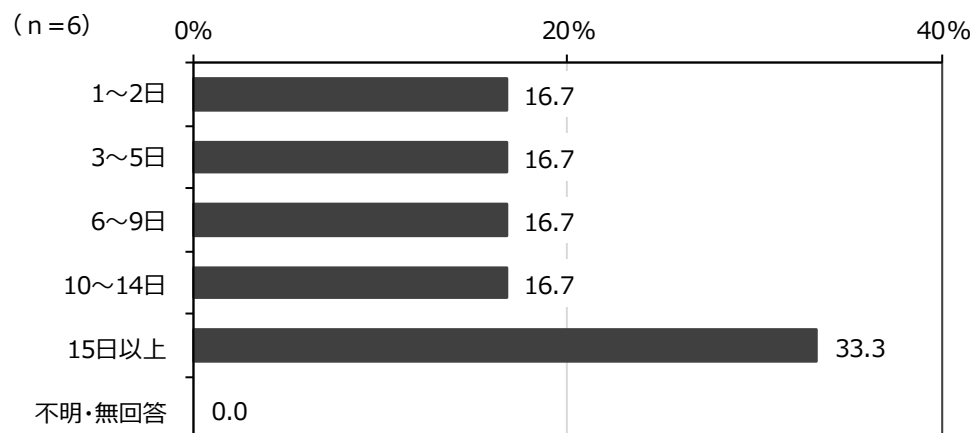
■ 仕事を休んでみたい意向（単数回答・数量回答）

「できれば仕事を休んで看たい」が 42.9%、「休んで看ることは非常に難しい」が 28.6%となっています。



■仕事を休んで看たい日数（「できれば仕事を休んで看たい」を選んだ方／数量回答）

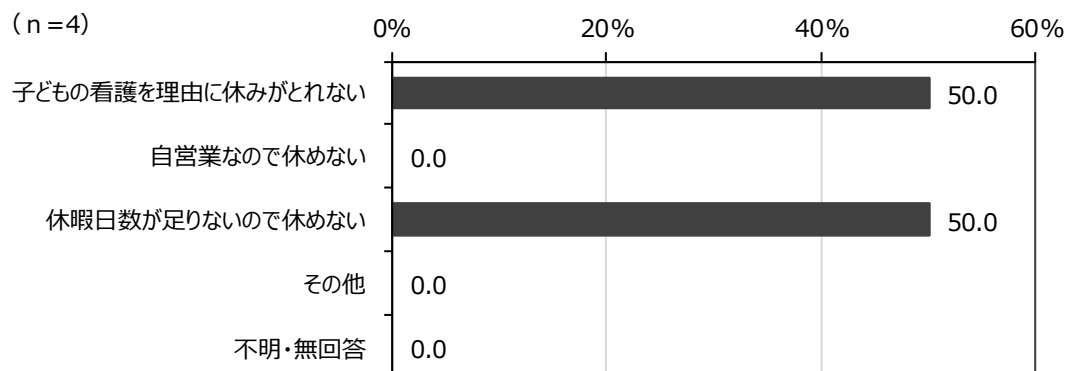
「15 日以上」が 33.3%と最も多く、次いで「1～2 日」と「3～5 日」、「6～9 日」、「10～14 日」がいずれも 16.7%となっています。



【問 39 で「休んで看することは非常に難しい」を選んだ方】

問 40 そう思われる理由は何ですか。（単数回答）

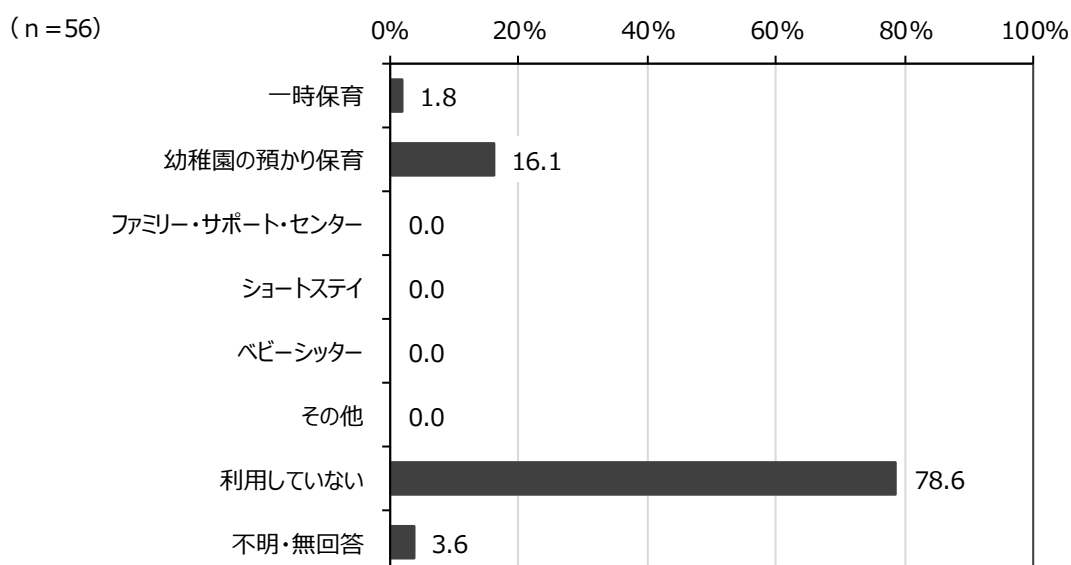
「子どもの看護を理由に休みがとれない」と「休暇日数が足りないので休めない」がともに 50.0%となっています。



9 宛名のお子さんの「一時保育や宿泊を伴う突発的な保育の利用」について

問 41 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。（複数回答）

「利用していない」が78.6%と最も多くなっています。また、利用している事業をみると、「幼稚園の預かり保育」が16.1%、「一時保育」が1.8%となっています。



■ 事業別利用日数（「利用していない」以外を選んだ方／数量回答）

「一時保育」では「15 日以上」（100.0%）が、「幼稚園の預かり保育」では「1～2 日」（33.3%）が最も多くなっています。

単位:%

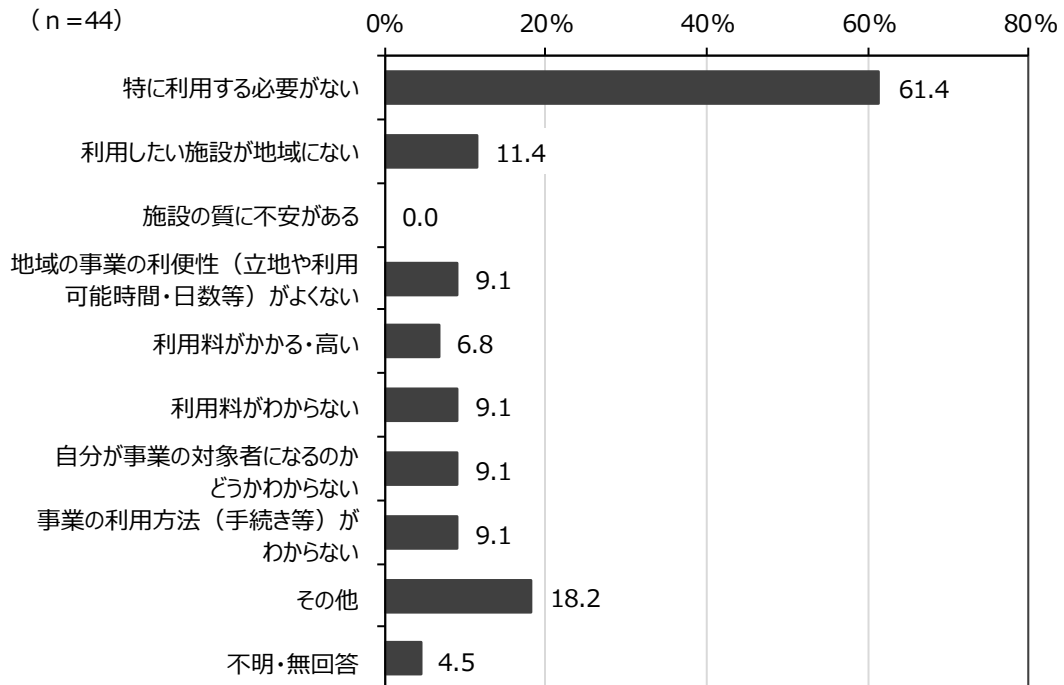
	n	1～2日	3～5日	6～9日	10～14日	15日以上	無回答
一時保育	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
幼稚園の預かり保育	9	33.3	22.2	22.2	0.0	22.2	0.0

※グレー部分は、最多項目

【問 41 で「利用していない」を選んだ方】

問 42 現在利用していない理由は何ですか。（複数回答）

「特に利用する必要がない」が61.4%と最も多く、次いで「その他」が18.2%、「利用したい施設が地域にない」が11.4%となっています。



【「その他」の理由】

○就労先で預かりをしている。

○幼稚園へ通っていて8時から預けたい場合、わざわざ休んで他の施設を利用しなければならず難しい。色々な所へ行かされる子供がかわいそう。

○幼稚園の預かりが現在は就労に限定されている為。

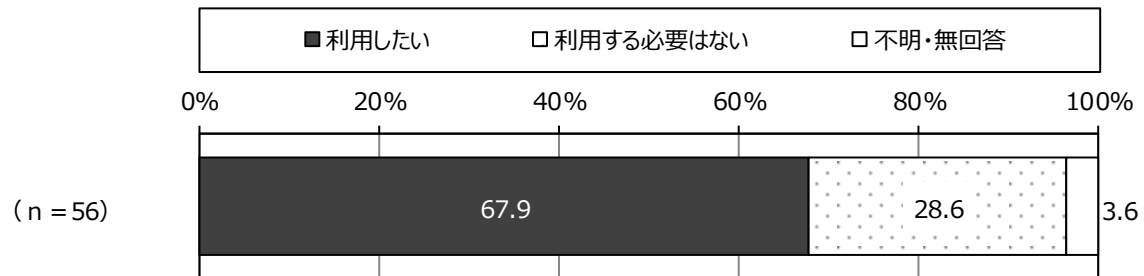
○まだ小さいから。

○タイミングが合わなくてまだ利用できていない。

問 43 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、一時保育の利用希望はありますか。また、利用希望がある場合、年間何日くらい一時保育事業を利用する必要があると思いますか。

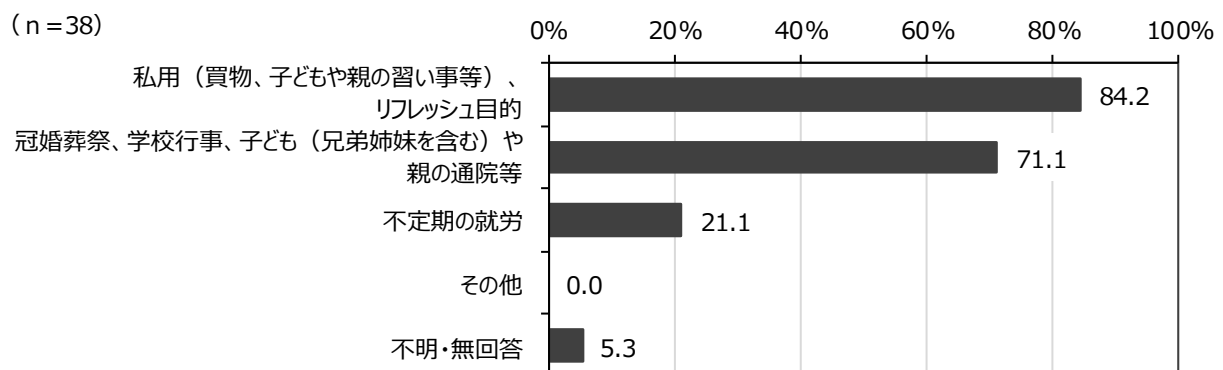
■ 一時保育の利用希望（単数回答）

「利用したい」が67.9%、「利用する必要はない」が28.6%となっています。



■ 利用したい目的の内訳（「利用したい」を選んだ方／複数回答）

「私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的」が84.2%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が71.1%、「不定期の就労」が21.1%となっています。



■ 利用したい目的別・年間日数（「利用したい」を選んだ方／数量回答）

「利用したい年間合計日数」みると、「5～9 日」が 55.3%と最も多くなっています。

目的別内訳の年間日数をみると、「私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的」では「10～19 日」（34.4%）が、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」と「不特定の就労」ではともに「5～9 日」（冠婚葬祭等 40.7%/不特定就労 37.5%）が最も多くなっています。

単位:%

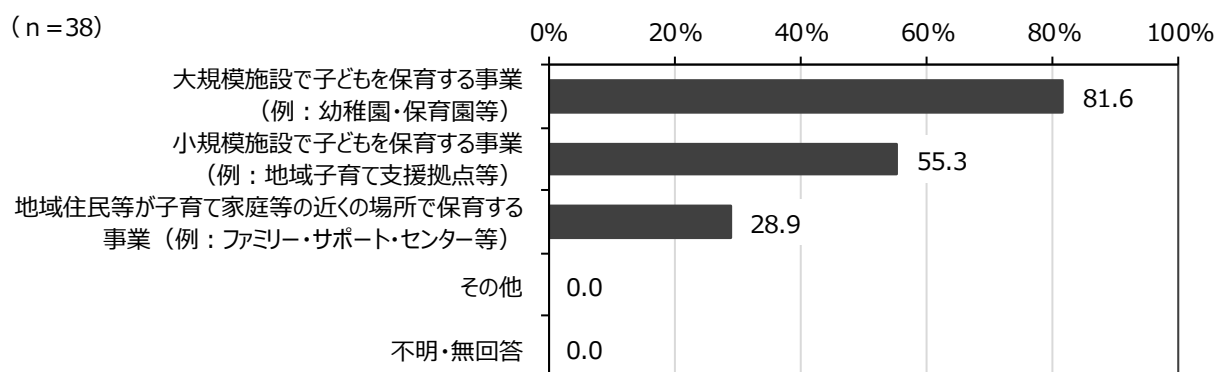
	n	1～4日	5～9日	10～19日	20～29日	30日以上	無回答
利用したい年間合計日数	38	42.1	55.3	42.1	15.8	10.5	10.5
目的別内訳							
私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的	32	18.8	21.9	34.4	9.4	9.4	6.3
冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	27	33.3	40.7	11.1	7.4	0.0	7.4
不特定の就労	8	12.5	37.5	25.0	12.5	12.5	0.0

※グレー部分は、最多項目

【問 43 で「利用したい」を選んだ方】

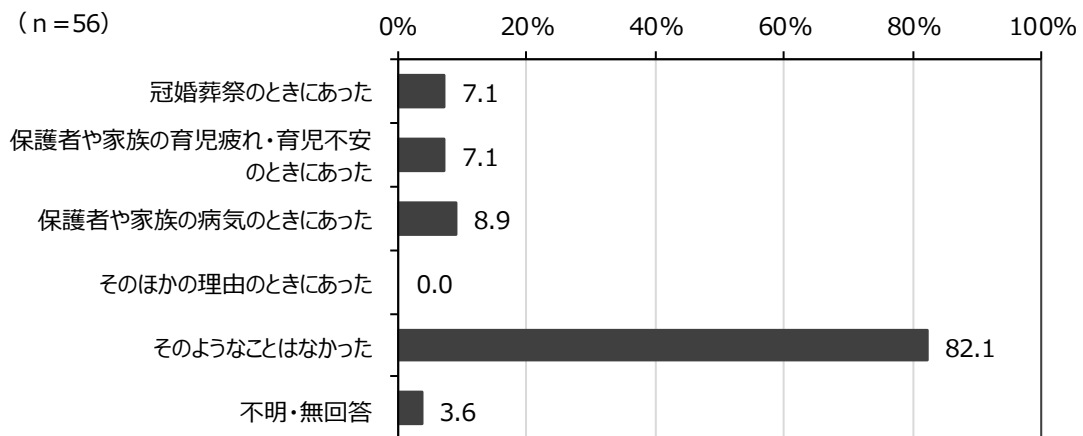
問 44 問 43 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるか。（複数回答）

「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育園等）」が 81.6%と最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）」が 55.3%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」が 28.9%なっています。



問 45 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気等）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（複数回答）

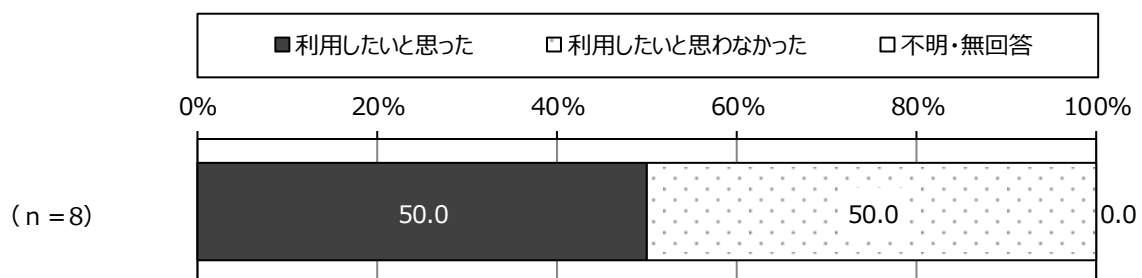
「そのようなことはなかった」が82.1%と最も多く、次いで「保護者や家族の病気のときにあった」が8.9%、「冠婚葬祭のときにあった」と「保護者や家族の育児疲れ・育児不安のときにあった」がともに7.1%となっています。



【問 45 で「そのようなことはなかった」以外を選んだ方】

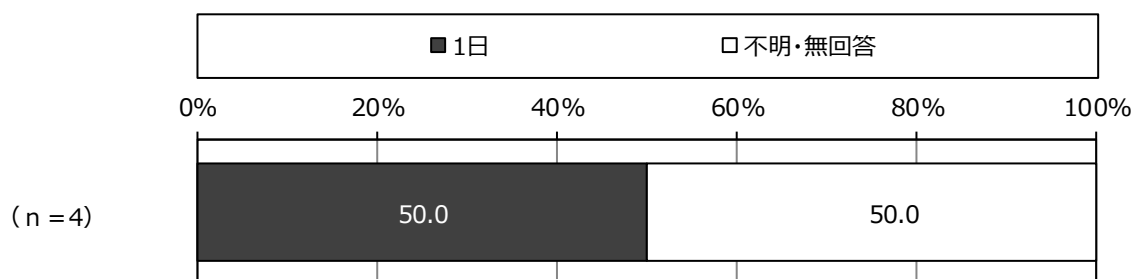
問 46 泊りがけで家族以外に宛名のお子さんをみてもらわないといけなかった時、短期入所生活援助事業（ショートステイ：児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）を利用したいと思いましたか。（単数回答）

「利用したいと思った」と「利用したいと思わなかった」がともに50.0%となっています。



■ 利用希望泊数（「利用したいと思った」を選んだ方／数量回答）

「1日」が50.0%となっています。



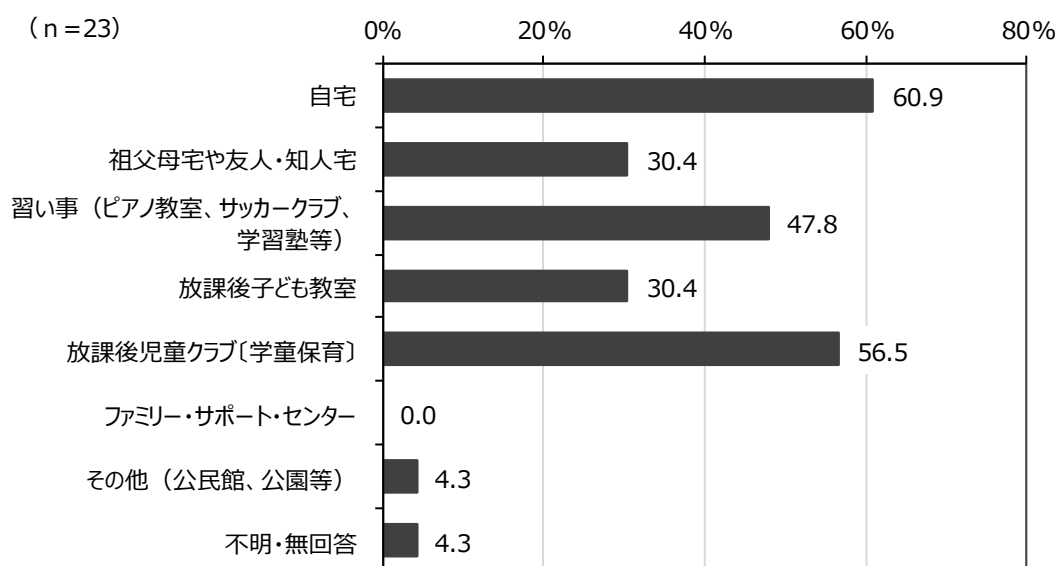
10 小学校就学後の放課後の過ごし方について

【宛名のお子さんが5歳以上である方】

問 47 お子さんについて、小学校のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（複数回答）

■ 放課後を過ごさせたい場所

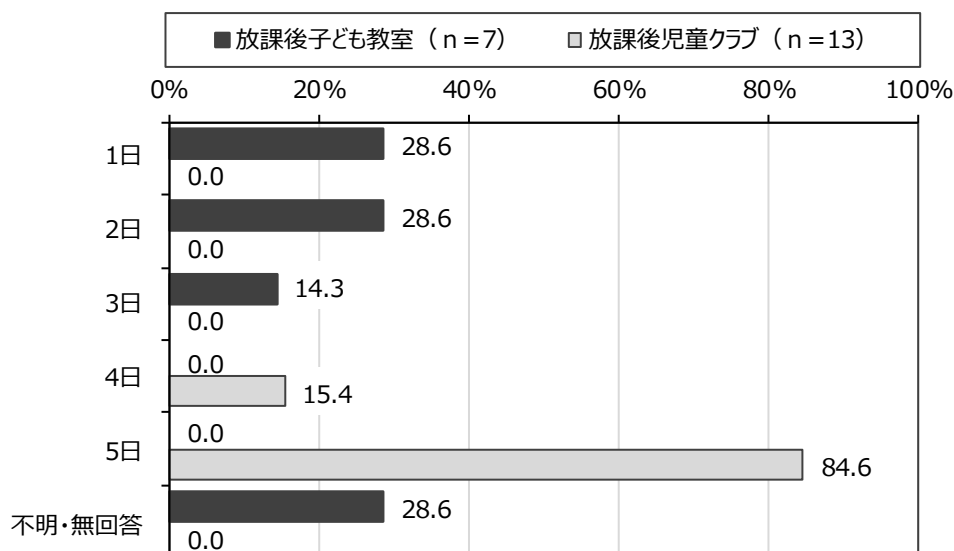
「自宅」が60.9%と最も多く、次いで「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が56.5%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）」が47.8%となっています。また、「放課後子ども教室」は30.4%となっています。



■ 放課後子ども教室と放課後児童クラブの平日 5 日のうち週あたり利用希望日数 （「放課後子ども教室」「放課後児童クラブ」を選んだ方／数量回答）

放課後子ども教室の週あたり利用希望日数をみると、「1 日」と「2 日」がともに 28.6%となっています。

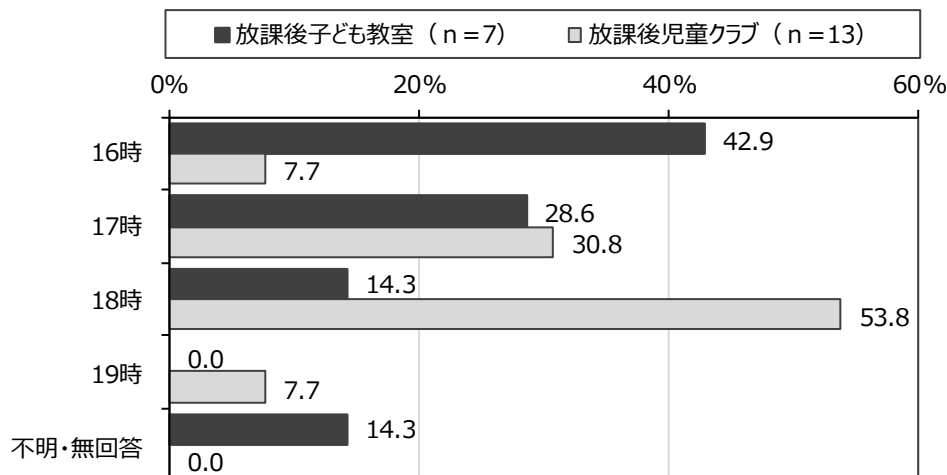
放課後児童クラブの週あたり利用希望日数をみると、「5 日」が 84.6%と最も多く、次いで「4 日」が 15.4%となっています。



■ 放課後子ども教室と放課後児童クラブの利用終了時刻 （「放課後子ども教室」「放課後児童クラブ」を選んだ方／数量回答）

放課後子ども教室の利用終了時刻をみると、「16 時」が 42.9%と最も多く、次いで「17 時」が 28.6%となっています。

放課後児童クラブの利用終了時刻をみると、「18 時」が 53.8%と最も多く、次いで「17 時」が 30.8%となっています。

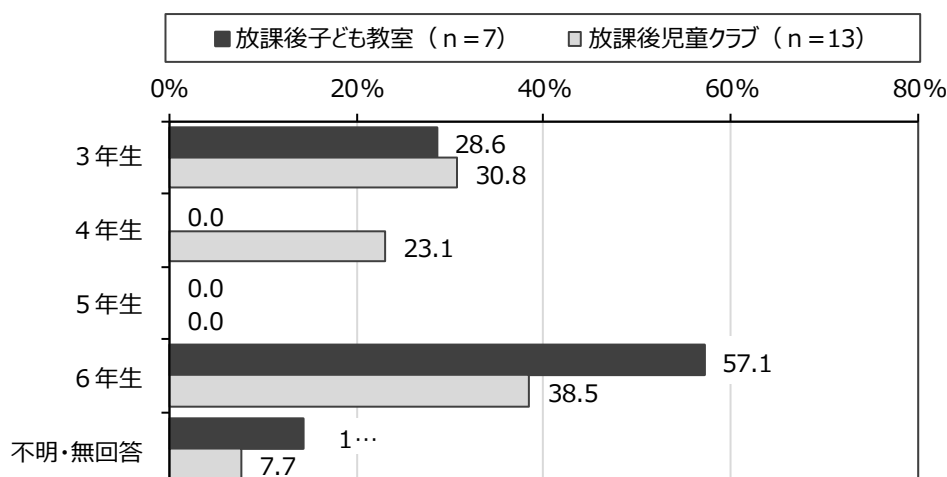


■放課後子ども教室と放課後児童クラブの利用最終学年

(「放課後子ども教室」「放課後児童クラブ」を選んだ方／数量回答)

放課後子ども教室の利用最終学年をみると、「6年生」が57.1%と最も多く、次いで「3年生」が28.6%となっています。

放課後児童クラブの利用最終学年をみると、「6年生」が38.5%と最も多く、次いで「3年生」が30.8%、「4年生」が23.1%となっています。



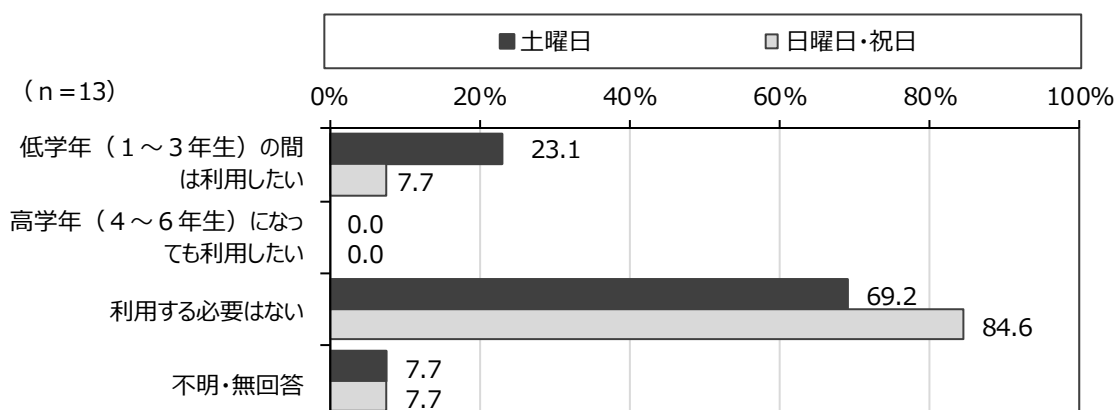
【問47で「放課後児童クラブ〔学童保育〕」を選んだ方】

問48 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、長期休暇期間中に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

■土曜日と日曜日・祝日の利用希望（単数回答）

土曜日の利用希望をみると、「利用する必要はない」が69.2%と最も多く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が23.1%となっています。

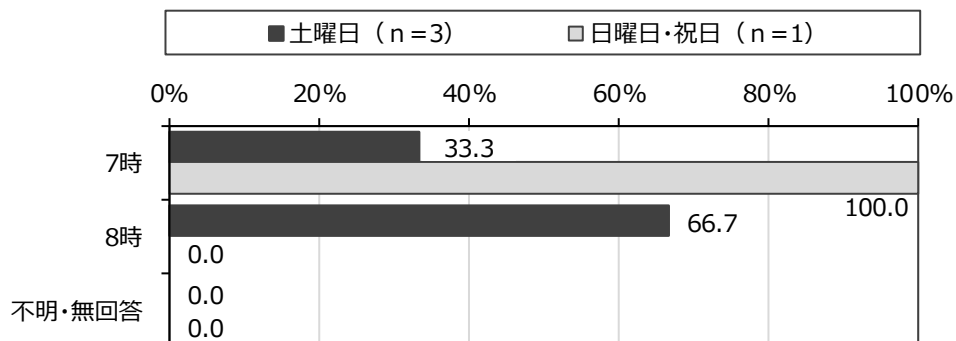
日曜日・祝日の利用希望をみると、「利用する必要はない」が84.6%と最も多く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が7.7%となっています。



■ 土曜日と日曜日・祝日の利用開始時刻（「利用したい」を選んだ方／数量回答）

土曜日の利用開始時刻をみると、「8時」が66.7%と最も多く、次いで「7時」が33.3%となっています。

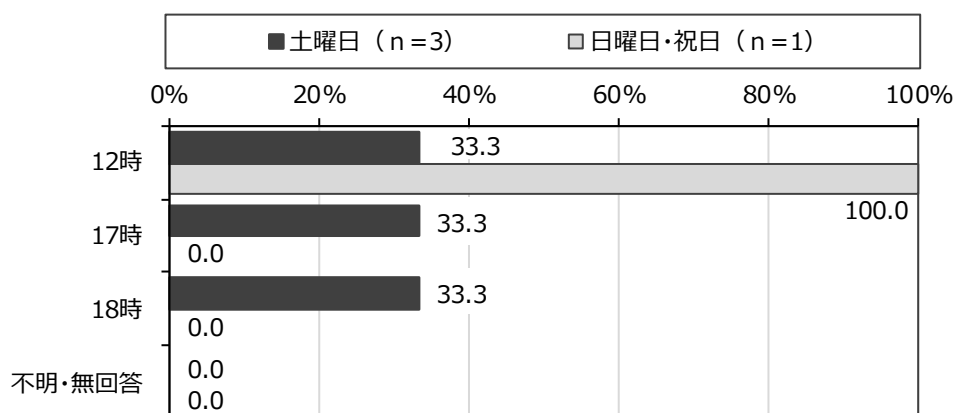
日曜日・祝日の利用開始時刻をみると、「7時」が100.0%となっています。



■ 土曜日と日曜日・祝日の利用終了時刻（「利用したい」を選んだ方／数量回答）

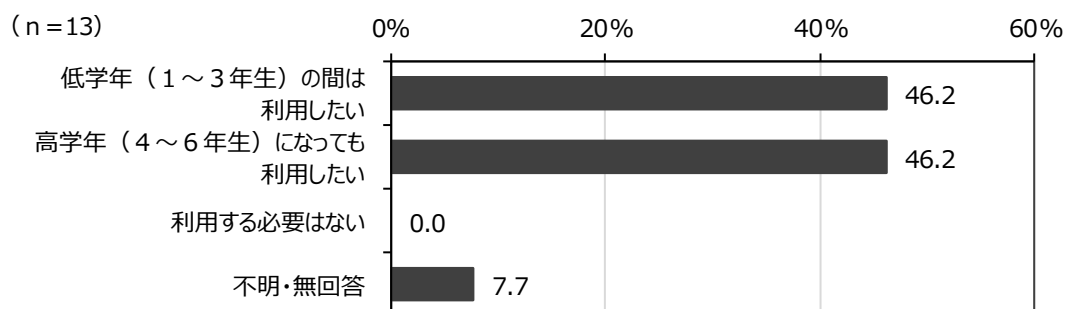
土曜日の利用終了時刻をみると、「12時」と「17時」、「18時」がいずれも33.3%となっています。

日曜日・祝日の利用終了時刻をみると、「12時」が100.0%となっています。



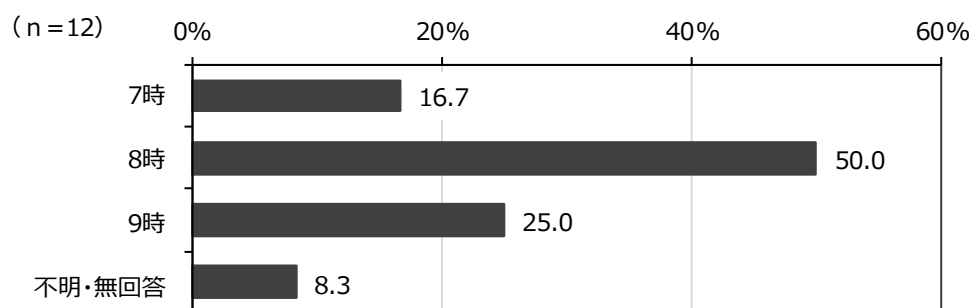
■長期休暇期間（夏休み・冬休み等）の利用希望（単数回答）

「低学年（1～3年生）の間は利用したい」と「高学年（4～6年生）になっても利用したい」がともに46.2%となっています。



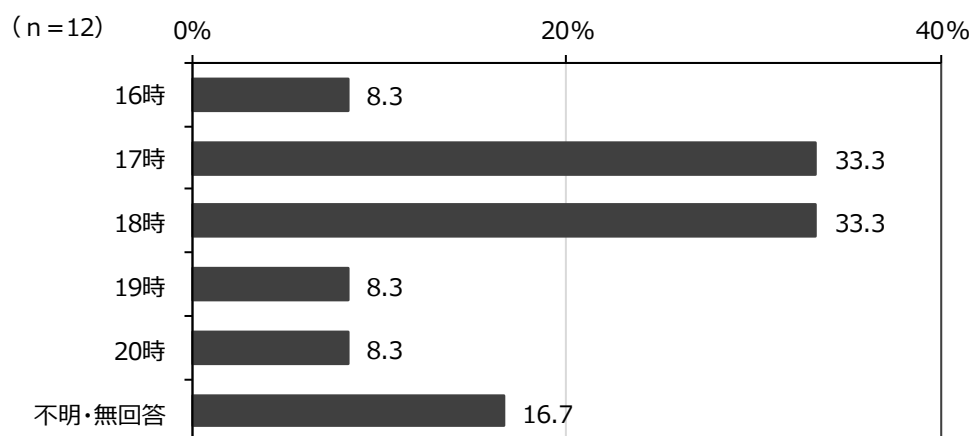
■長期休暇期間の利用開始時刻（「利用したい」を選んだ方／数量回答）

「8時」が50.0%と最も多く、次いで「9時」が25.0%、「7時」が16.7%となっています。



■長期休暇期間の利用終了時刻（「利用したい」を選んだ方／数量回答）

「17時」と「18時」がともに33.3%と最も多く、次いで「16時」と「19時」、「20時」がいずれも8.3%となっています。



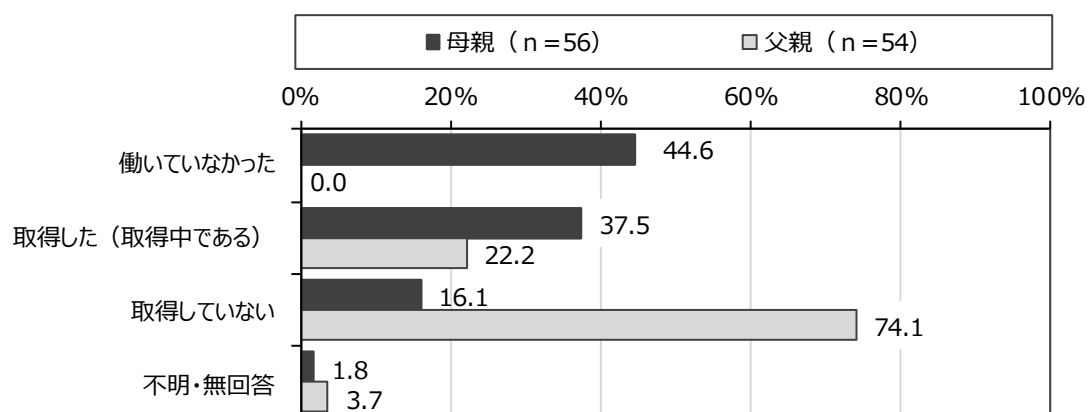
11 育児休業や短時間勤務制度等の職場の両立支援制度について

問 49 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。また、取得していない方にうかがいます。取得していない理由は何ですか。

■ 母親と父親の育児休業の取得状況（単数回答）

母親の取得状況をみると、「働いていなかった」が44.6%と最も多く、次いで「取得した（取得中である）」が37.5%、「取得していない」が16.1%となっています。

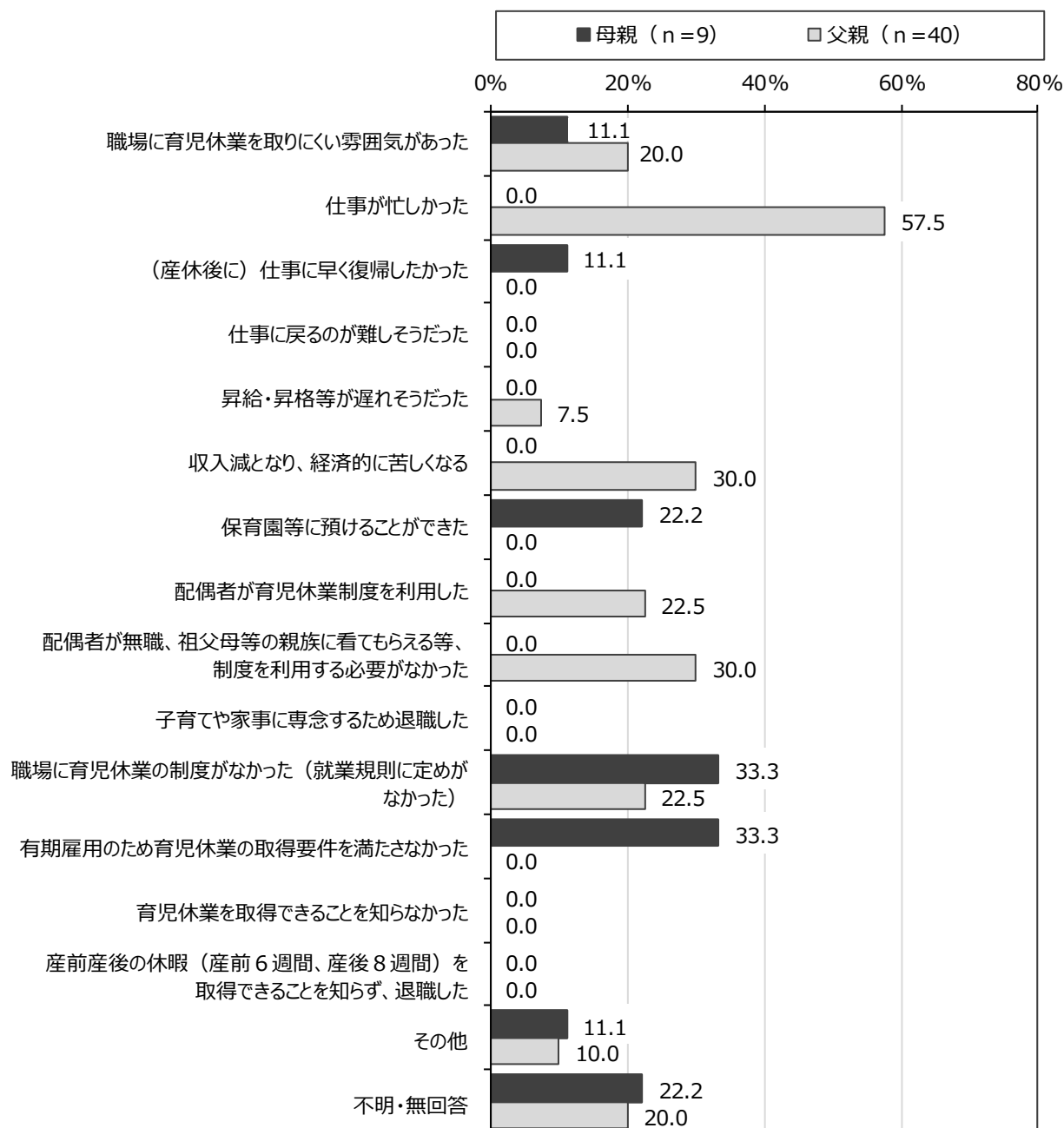
父親の取得状況をみると、「取得していない」が74.1%と最も多く、次いで「取得した（取得中である）」が22.2%となっています。



■ 母親と父親の育児休業を取得していない理由（「取得していない」を選んだ方／複数回答）

母親の取得していない理由をみると、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」と「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」がともに 33.3%と最も多く、次いで「保育園等に預けることができた」が 22.2%となっています。

父親の取得していない理由をみると、「仕事が忙しかった」が 57.5%と最も多く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」と「配偶者が無職、祖父母等の親族に看てもらえる等、制度を利用する必要がなかった」がともに 30.0%となっています。

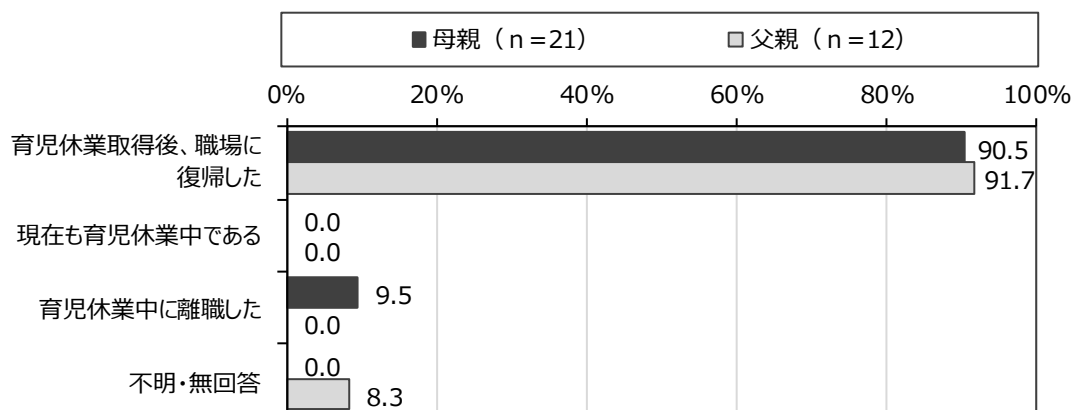


【問 49 で「取得した（取得中である）」を選んだ方】

問 50 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（単数回答）

母親の職場復帰状況をみると、「育児休業取得後、職場に復帰した」が90.5%と最も多く、次いで「育児休業中に離職した」が9.5%となっています。

父親の職場復帰状況をみると、「育児休業取得後、職場に復帰した」が91.7%となっています。



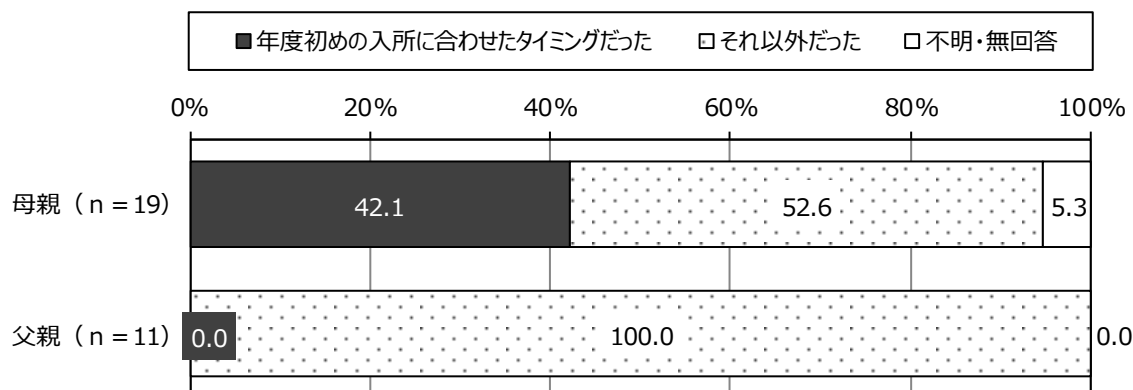
【問 50 で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方】

問 51 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

■ 母親と父親の職場復帰した時期（単数回答）

母親の職場復帰時期をみると、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が42.1%、「それ以外だった」が52.6%となっています。

父親の職場復帰時期をみると、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が0.0%、「それ以外だった」が100.0%となっています。



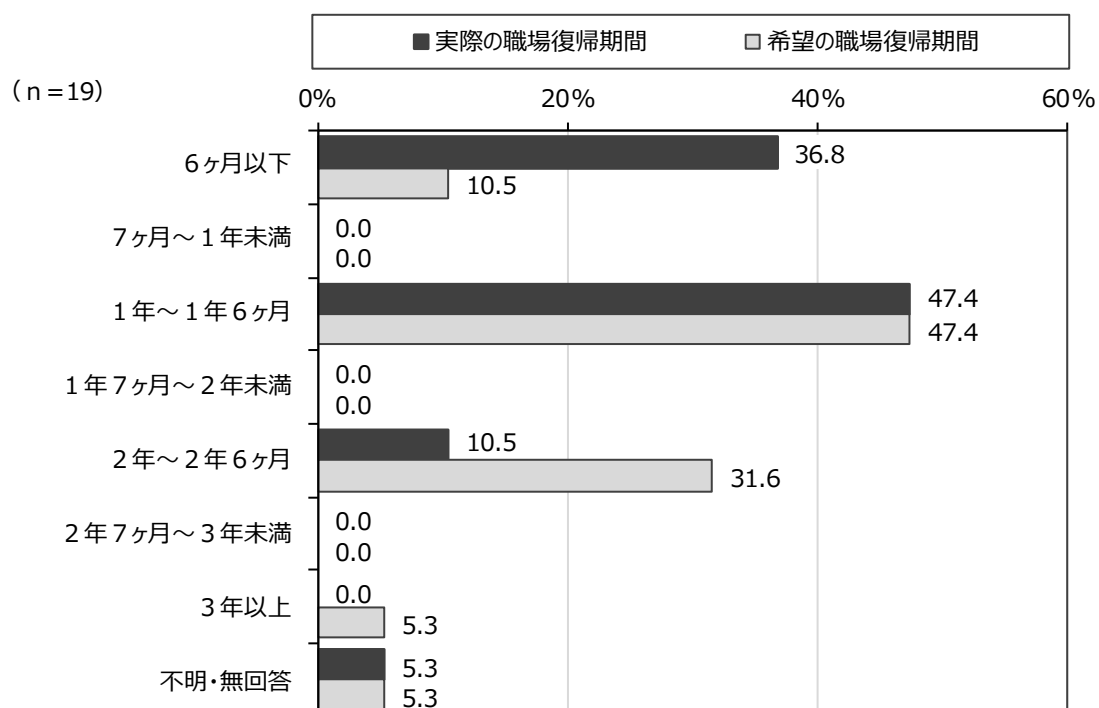
【問 50 で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方】

問 52 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望」として何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

■ 母親の実際と希望の職場復帰期間（数量回答）

母親の実際の職場復帰期間をみると、「1 年～1 年 6 ヶ月」が 47.4%と最も多く、次いで「6 ヶ月以下」が 36.8%となっています。

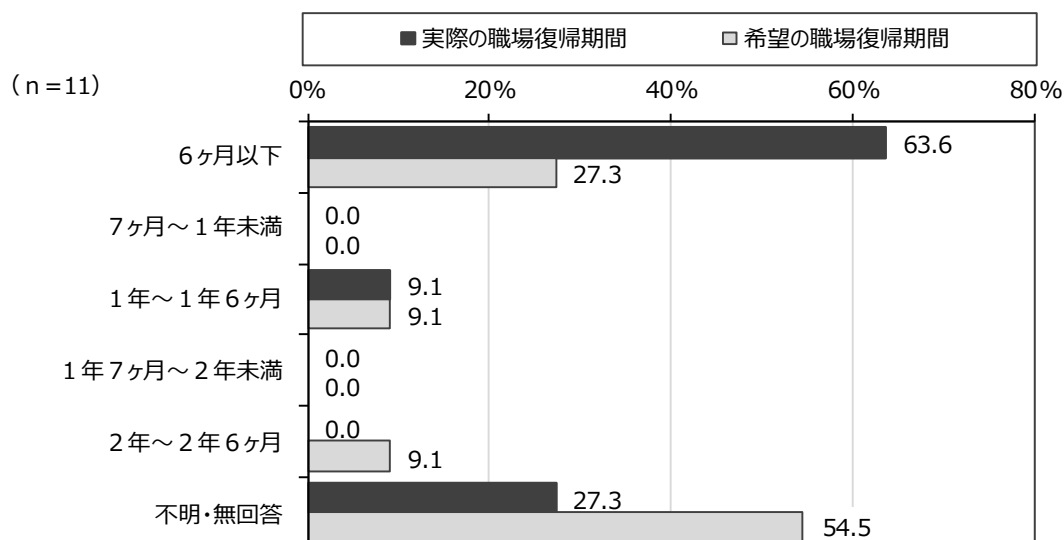
母親の希望の職場復帰期間をみると、「1 年～1 年 6 ヶ月」が 47.4%と最も多く、次いで「2 年～2 年 6 ヶ月」が 31.6%となっています。



■父親の実際と希望の職場復帰期間（数量回答）

父親の実際の職場復帰期間をみると、「6ヶ月以下」が63.6%と最も多く、次いで「1年～1年6ヶ月」が9.1%となっています。

父親の希望の職場復帰期間をみると、「6ヶ月以下」が27.3%と最も多く、次いで「1年～1年6ヶ月」と「2年～2年6ヶ月」がともに9.1%となっています。



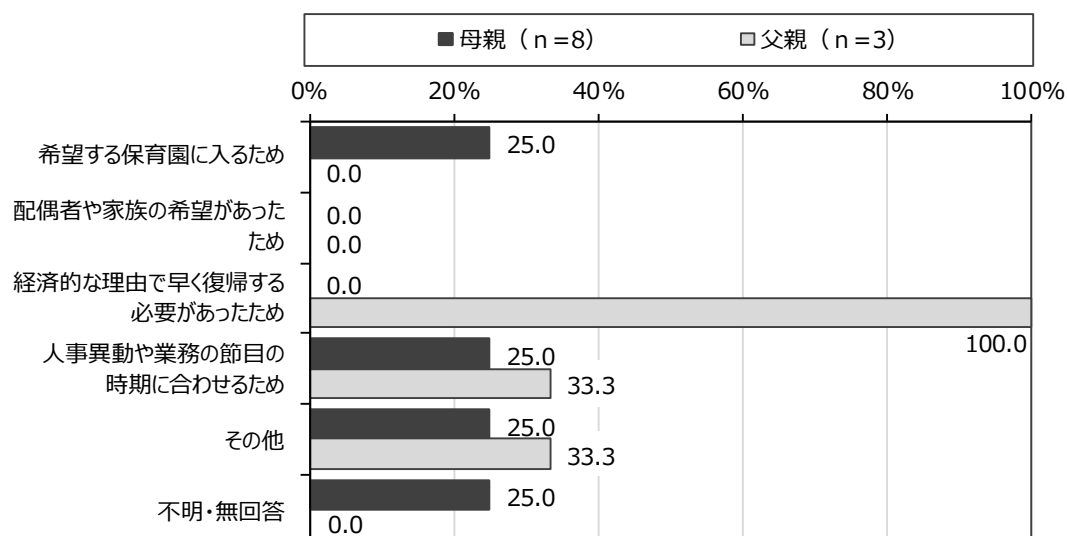
【問52で実際の復帰と希望が異なる方】

問53 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

■母親と父親の「希望」より早く復帰した理由（「希望」より早く復帰した方／複数回答）

母親の「希望」より早く復帰した理由をみると、「希望する保育園に入るため」と「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」、「その他」がいずれも25.0%となっています。

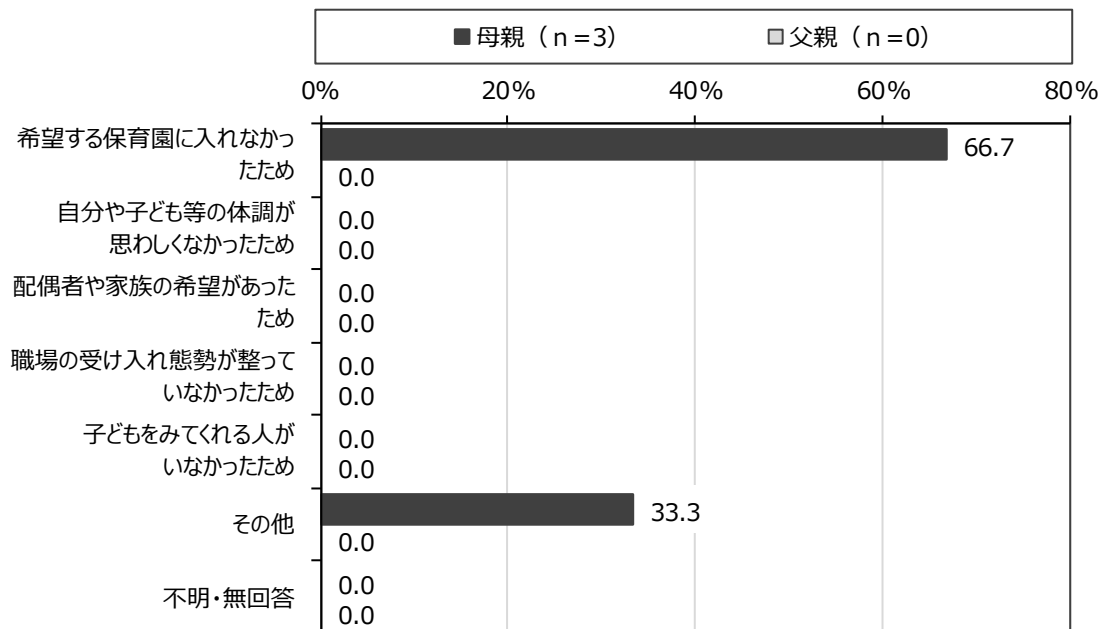
父親の「希望」より早く復帰した理由をみると、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が100.0%と最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」と「その他」がともに33.3%となっています。



■ 母親と父親の「希望」より遅く復帰した理由（「希望」より遅く復帰した方／複数回答）

母親の「希望」より遅く復帰した理由をみると、「希望する保育園に入れなかったため」が66.7%と最も多く、次いで「その他」が33.0%となっています。

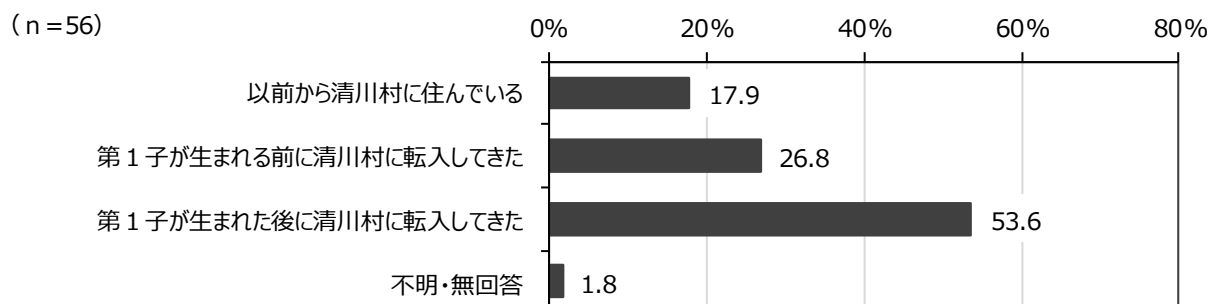
※父親の回答該当者は「0件」でした。



12 子育てについて、考えていることや感じていることについて

問 54 保護者の方は、いつごろから清川村にお住まいですか。（単数回答）

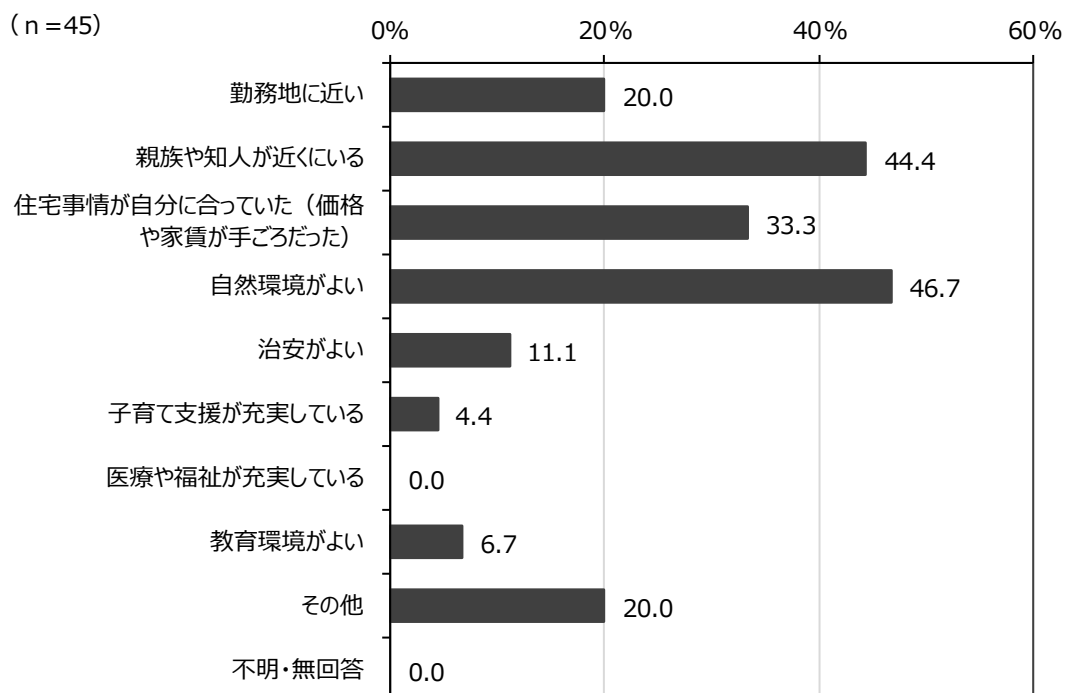
「第1子が生まれた後に清川村に転入してきた」が53.6%と最も多く、次いで「第1子が生まれる前に清川村に転入してきた」が26.8%、「以前から清川村に住んでいる」が17.9%となっています。



【問54で「清川村に転入してきた」を選んだ方】

問 55 清川村への転入を決めた理由は何ですか。（複数回答）

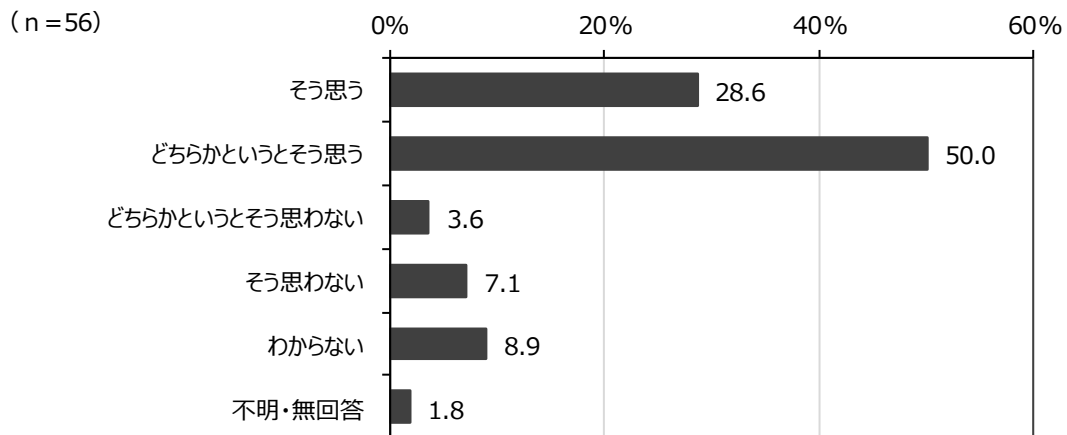
「自然環境がよい」が46.7%と最も多く、次いで「親族や知人が近くにいる」が44.4%、「住宅事情が自分に合っていた（価格や家賃が手ごろだった）」が33.3%となっています。



問 56 自分自身の子育てが、地域の人々や地域社会に支えられてると思いますか。

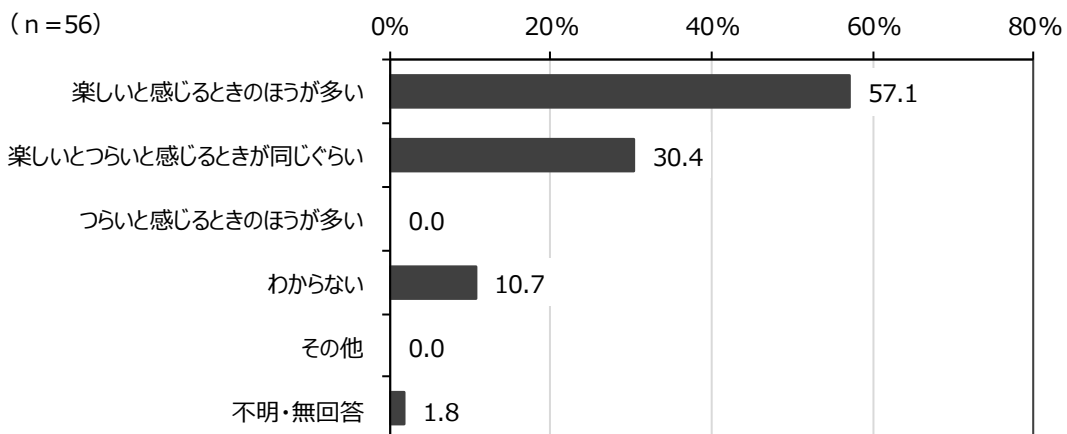
(単数回答)

「どちらかというと思う」が50.0%と最も多く、次いで多い「そう思う」(28.6%)とあわせた“そう思う”は78.6%となっています。反対に、「どちらかというと思わない」(3.6%)と「そう思わない」(7.1%)をあわせた“そう思わない”は10.7%となっています。



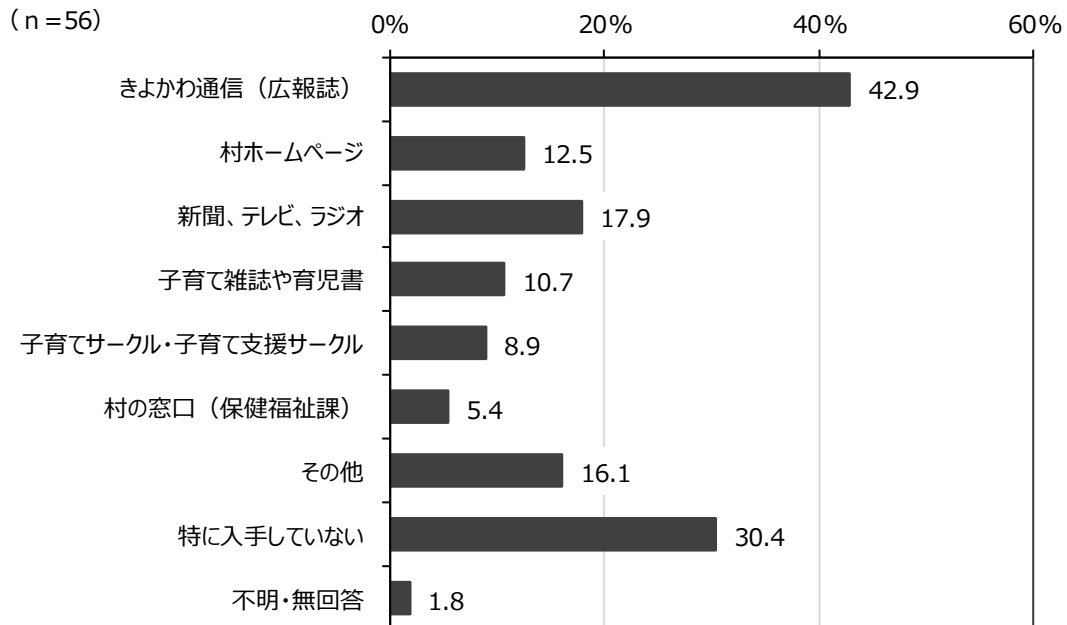
問 57 子育てについて、どのように感じていますか。 (単数回答)

「楽しいと感じるときのほうが多い」が57.1%と最も多く、次いで「楽しいとつらいと感じるときが同じくらい」が30.4%、「わからない」が10.7%となっています。



問 58 子育てに関する情報の入手先としてよく利用するものはどれですか。（複数回答）

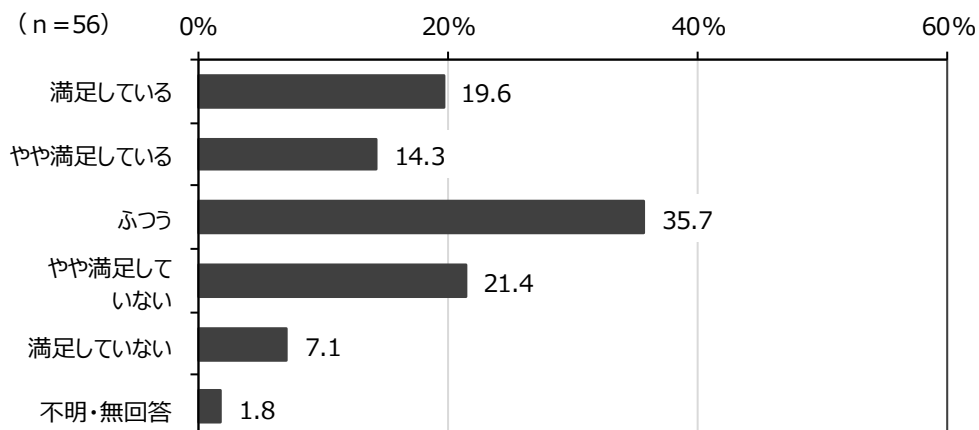
「きよかわ通信（広報誌）」が42.9%と最も多く、次いで「特に入手していない」が30.4%、「新聞、テレビ、ラジオ」が17.9%となっています。



問 59 清川村の子育ての環境や支援への満足度について、どのように思っていますか。

（単数回答）

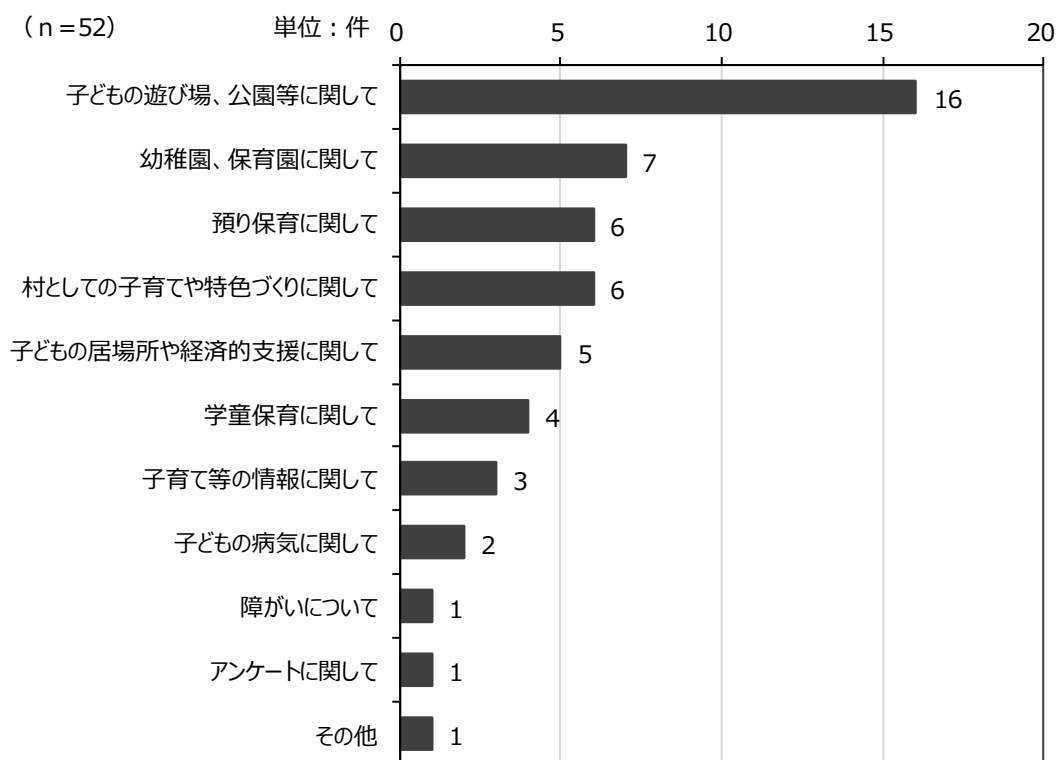
「ふつう」が35.7%と最も多くなっています。次いで「やや満足していない」が21.4%と多く、「満足していない」（7.1%）とあわせた“満足していない”は28.5%となっています。反対に、「満足している」（19.6%）と「やや満足している」（14.3%）をあわせた“満足している”は33.9%となっています。



問 60 教育・保育施設に関することや子育ての悩み、子育ての環境・支援に関してご自由にご記入ください。（自由回答）

教育・保育施設に関すること等の自由回答をみると、「子どもの遊び場、公園等に関して」が16件と最も多く、次いで「幼稚園、保育園に関して」が7件、「預り保育に関して」と「村としての子育てや特色づくりに関して」がともに6件となっています。

※自由回答の回答件数は31件で、複数の内容について触れている回答を個々の内容に分割した件数は52件でした。なお、一部の回答の記載において、回答の主旨を尊重しながら表現をまとめる等の修正をしています。



子どもの遊び場、公園等に関して

明るく治安が良い所に公園が欲しいです。室内で遊べるバドミントン、卓球等できる施設が欲しい。

子どもがもう少しのびのび出来たらいいと思います（ボール遊びできる場所が少ない、すぐに苦情がでる等）。

子どもが安心して遊べる場所が少なすぎる。せっかく自然があっても、ゲームをするだけでは。親と一緒にしかいけないのでは難しい。移住促進のため、プレミアムがありますが、期限があるのでその後どうすればいいのか。その他プレミアムではなくとも定住するための窓口等、継続してフォローしてもらえればありがたいです。また、宮ヶ瀬まで行かずとも気軽に遊べる場所、アスレチック等があるととても嬉しいです。

子育ての環境や支援で望むことは、子どもの発達や成長によって異なるが、子ども世代が安心して遊んだり、過ごしたりする場所があると良いと思う。
近くに公園が無い。村の運動公園横の公園も交通の便が良くないように感じる上、毎回車が必要な公園は面倒に感じる。路駐の容認も疑問に思う。放課後の子どもの過ごし方が窮屈そうだと思う。友達同士の家が遠かったり、公園が遠く行き来だけで時間をとられたり宿題が多かったり。友達と放課後遊ぶハードルが高くなったと感じている。
運動公園の他に、中地区にもう1つ公園のような外で遊べる施設があるとありがたいです（車で遊びに行くのではなく、歩いて行ける範囲に公園が欲しい）。
自転車の練習ができる公園が欲しい。公園に駐車場を作っていただけると、もっと利用頻度が高くなる。
降園後の子どもの遊び場として、複合遊具のある公園や児童館があると良いと思います。もしくは園庭解放を16時までにしてもらえたら、子ども達も満足して帰れると思います。
家の近くに公園等の子どもが遊べる所が無く、家の中にこもりがちなので、子どもが安心して遊べる場所がもっとあるとありがたいです（できれば子どもが歩いていける距離で）。
遊び場が無いので、「公園に行きたい」と言われると村外へ行きます。村の運動公園に遊具はありますが、すぐに飽きてしまいますし、日は当たらないし寒いです。また、小学生が下校してから集まれるような場所（厚木の児童館の様な所）があれば、小学校に子どもがいても帰宅後安心できるのではないのでしょうか。仕事が終わってから学童の迎え、保育園への迎えと短い距離の移動が多いので、今後ひとつの場所へのお迎えになると助かります。
公園が少ない。
学童保育ではない遊び場が欲しい。通学が遠いために小学校低学年だと、児童の部屋や図書館で親のお迎えを待つ子が毎日数人はいます。学童のように利用を申し込まなくても遊べる児童館のような場所があればいいと思います（学校内でも可）。
子どもが1～2歳の時は散歩するにも外遊びさせるにもけがをしないか不安が多かった。せっかくの自然の多い環境を堪能させたかったが、村の公園だと1～2歳の遊び場には道路の車や遊具も対象外の物ばかりで安全ではないように感じた。午後は小学生も来てボール等がよく飛んできた。子どもが3歳くらいになるまでは、村にいるのにわざわざ村外の公園に行っていました。村外でのママ友も増えてその点は良いのですが、できたら村内でのつながりも増やしたかったです。伊勢原市総合運動公園のように1～3歳専用の公園があるととても助かると思います。柵で囲まれていたり、ベビー用ブランコや小さな砂場等もあったり、同年代同士だと安心して見ていられました。村外に行くのではなく、村外から来たママ達に清川で子育てしたいと行ってもらえるくらいになりたい。
児童館が無いので雨の日や夏の暑い中、子どもが広い場所で体を動かす事が出来ない。みどりホールの解放をしてほしい。
子どもの遊ぶ室内の場所は、もう少し広い場所が欲しいです。
子育て支援では、はいはい児の時の遊ぶ場がなかった。

幼稚園、保育園に関して
現在の保育園の入園児数で、幼稚園と分ける必要はあるのでしょうか。少子高齢化で入園児数は減っている現状で、保育園と幼稚園を併せたハイブリッドな施設を作っても良いのではないのでしょうか。入園児数確保のために特色を持たせた方が良いのではないのでしょうか。英語教育に力を入れたり、運動（体操やサッカー、ダンス等）を外部から講師を招いて実施する等、特色のある教育環境を作ってほしいです。
降園後の幼稚園等での習い事教室（体操等）を運営してほしい。
少子化が進む中、保育園と幼稚園で同級生が分かれて過ごすのはなんだかと思っています。幼稚園の預かり事業は利用者が多くなく、フルタイムには対応していません。働く親としては、いっそのこと保育園と幼稚園を併せてこども園にしてほしいと思う事もしばしばです。しかしながら幼稚園で子どもが学ぶ事・体験する事は保育園以上だと思っています。幼少期に子どもに贈れる環境としては素晴らしいので、幼稚園を選択する親御さんが増えたらいいと思います。
子どもの人数が少ない中で、今後幼稚園での集団生活や行事等が成り立つのか不安に感じています。
通園・通学バスがあると助かります。
保育園組と幼稚園組という言葉をよく聞く。どちらも少人数なので、こども園にして一緒に生活した方がいい。
幼稚園を廃止して認定こども園にしてほしい。
預り保育に関して
幼稚園の預かり保育をもう少し充実させてほしい。預かり保育の先生がいるのに、お預かりできない日が月に数回あり、不便に感じる時がある。
子どもはとても楽しく幼稚園へ通えましたので良かったのですが、9時前より預かりがあれば仕事もできたと思っています。
幼稚園が9時からなので、働き先が限られる（厚木へ行くまでに15分以上かかるので）。預かりを利用させてもらっても、短時間しか働けない（保育園に預けるほどのフルでは希望していないため）。
せっかく清川村に来たのに、保育園に入れなくて残念でした。幼稚園の預かりの融通がきくといいと思います。
幼稚園で早朝保育をしてほしい。又は送迎ステーションのようなものがほしい。幼稚園の教育はとても満足しています。お迎えに行くと子どもの様子を先生方が毎日伝達してくださいます。行事を行う過程も丁寧で、他の幼稚園にはない少人数の良さを感じます。だからこそ、園児が少なすぎる事、親の就労の関係で転園していく子があるとさみしく感じます（上の子は幼稚園卒で下の子は保育園へ行く子をよく見ます）。私も転園する予定はありませんが、就労には不向きだと思います。前職や資格を活かして働きたいと思っているのですが、どの職場を見ても村から車で20分程度は移動しなければいけません。9時半始業でも余裕がない状況です。母子室、児童の部屋、学童保育等、幼稚園の近くで30分だけでも待機して、9時に合わせて登園してもらおう等ができれば働く場所の選択肢が増えると思います。

保育園に入れると思って引っ越してきたが、入れなかった。幼稚園の預かりについて、リフレッシュ目的では利用できないことが残念。働く身として 9 時前・17 時以降預けられないのは残念です。遠出の仕事は入れられない。
村としての子育てや特色づくりに関して
今後幼稚園、小学校、中学校が一貫されていきますが、清川村での特色を出していくことを希望します。外部講師を招待して英語の勉強や、海外からの移住者を積極的に招きグローバル感覚を養う。人口減少もあるので、土地活用で移住者を積極的に受け入れる等、今後も安定して子どもの育成や環境整備を継続できると思う。
教育について。無理に特色（地域色）を出そうとせず、レベルの高い教育水準である方がよっぽど個性的だと思います。田舎、郊外にありがちな「低い学力→地元で就職」よりもっとマクロ的な視点で考えてみてはいかがでしょうか。「話題のスタートアップ企業」「誰もが知っているグローバル企業」「自然を第一に考える政治家、官僚」が清川村出身だったら、とてもワクワクするし誇らしいです。
子育てに力を入れているようですが、子育て世代の移住者が無いのは魅力的に映らないからでしょうか。近隣では力を入れ、増加しているところもあると聞きます。村民が保育園を利用できないこともある（待機が出る）のは仕事ができない大きな理由の 1 つであると思います。
清川村で子育てをしていると地域の方が子どもたちに声をかけてくれて、安心感があり、ありがたく思っています。少人数で大人の目も届きやすい環境であるとも思います。幼稚園・保育園～中学校卒業までほとんどの子が同じクラスで過ごすので、家族の様に親しい関係になることもありますが、ずっと同じ人間関係の中でなじめない子にとっては苦しい環境になるとも思います。そんな子たちが安心して通える学校であってほしいと願います。なかなか難しい事だと思いますが、学校が人間関係をきちんと学べる場所であってほしいです。
清川村はとても良い所なので、もっともっと土地を増やして、子育て世帯が増えれば良いと思いました。土地がなかなか無いので結局厚木で家を建てることになってしまう。
幼・小・中学校はどうなるのか。小学校の学童クラブはどんな感じで過ごすのか。選択肢が無いので内容に力を入れてほしい。少人数だからこそできる教育をしてほしい。個性を大事に、長所を伸ばせる環境になると嬉しい。こういった事が広まると、子どもの数も増え、移住のメリットになると思います。
子どもの居場所や経済的支援に関して
医療費や学費等が無償化になってきており、とてもありがたい世の中になってきていると感じる。
学校（幼稚園等）や家庭に居場所がないと感じた時に支えてくれる地域だと嬉しい。親に頼れないと思った時、頼れる大人と繋がれる制度はありますか？子育ては楽しい事もあるが大変な事も多いので、気軽に助けてもらえると良いのと思う事がある。
4,500 円の補助券が実質オムツ購入券だったので、オムツのとれる 3 歳まで欲しい。
子ども食堂のように、長期休みで親がいない時に、安心してごはんを食べれる場所があってほしい。
物価が上がって経済的な面で大変になってきたので、子育て用品の助成金額が増えたらいいなと思います。

学童保育に関して
学童の長期休暇期間の開始時間を早めてほしい。
長期休暇期間の学童の開始時間を早めてほしい。
学童も一時保育みたいに単発でできるサービスがあればありがたいです。
学童も一時保育のように単発で入れたらいいと思いました。
子育て等の情報に関して
毎日とても楽しく子育てをしています。自宅近くには自然を感じる場所が多くあり、少し足を延ばせば市内にもすぐ行ける。私たち家族にとって清川村は理想的な場所です。そんな中、今後清川村へ定住したいと考えていますが、土地はあるのか（村のHP 以外の情報含む）、空き家はあるのか、支援はどのくらいあるのか等、気になっております。そのような情報があると嬉しく思います。
子育て支援では年長となると習い事が始まってくる頃なので村で受けられる習い事一覧等、ママ友頼りでなく得られる情報ソースが欲しいです。
育児・仕事に手一杯で、家事に手が回りきらない。家事代行サービス（有料）が利用できればお願いしたいので、情報が知りたい。
子どもの病気に関して
発熱等症状があり病院を受診するが、園や村で流行っている感染症が分からないと多数検査をしなければいけないので、教えてもらえると助かる。
風邪等を引くと鼻水がうまくかめず、ひどいと毎日耳鼻科に通い吸引してもらわないといけないのですが、耳鼻科が厚木まで出ないと無く、通うのが大変です。村内に病院ができると通いやすくしてほしいと思います。
障がいに関して
幼児を中心とした療育が出来る施設があると良い。言葉、集団、個別等様々なものに対応出来るように。保育の資格を持つ方がいつもいる場で子どもが遊べる所があると良い（曜日指定ではなく月～日まで）。
アンケートに関して
このアンケートは WEB 回答にしてほしい。読むのも書くのも大変なので。個人が特定される事は無いと書いてあるが、アンケートの配布・回収方法や兄弟情報、親の就労情報から特定されてしまうため、少しでも匿名性を高めるために WEB 回答にした方が良くと思う。これからは子どもの数も減っていくので、保健師さんが対象者に直接ヒアリングをしていくことも重要だと思う。信頼関係のもとで、個別に具体的なニーズ把握を施策に活かして欲しい。
その他
小学校でも柔らかな野球 OK にしてほしいです。